

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		企画課	A1B	20						
重 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
1-1-1-1-1 市民自治の推進		2	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 市職員「地域担当制度」事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 1	市民委員会 委員意見 八木委員	<p>1、制度開始が遅れたため具体的な活動は21年度に繰り越されたとのことだが、平成21年度目標の達成見込みをどのように予測されているかお聞きしたい。</p> <p>2、市民参加のPDCAでは、C・A段階で「市民委員会で制度を評価・改善する」と記載されているが、いつ、どのような形で評価・改善が検討される予定か、見通し・計画についてお尋ねしたい。</p> <p>3、「地域担当制度」の考え方や進め方などの職員教育は、どのくらいの時間と費用をかけて実施されているか。また、その評価などについて教えてください。</p>	担当課回答	<p>1.現在15地区において区長との話し合いが進められており、各グループとも懇談回数4回及び地域おこし会議発足15件は達成されるも込み。地域計画に係るめざまし申請件数は9月末で0件のため、未達成の見込み。計画策定取り組みグループ数3件は、達成のための調整を進める。</p> <p>2.2月末に予定する21年度評価までに、総合計画実施計画のローリングと事務事業評価の関係を整理し、市民委員会の役割を明確にしたい。</p> <p>3.リーダー、副リーダーを対象に4月以降、調整会議を2回実施した。その他、グループ内での勉強会を随時行っている。費用は資料代。グループ活動内容や課題の共有、市民意見への対応など協議しており、その評価は、職員の理解度が活動状況に直結するだけに年度末の指標達成度を待ちたい。</p>					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
				23年度以降	有・無				

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		企画課	A1B	20						
重 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
1-1-1-1-1 市民自治の推進		2	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 市職員「地域担当制度」事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 2	市民委員会 委員意見 加藤委員	<p>地域担当職員に任命された職員は平常事務の他に、地域とのパイプ役等の職務が加わり忙しいと思いますがこの制度が定着するよう頑張ってくださいと思います。</p> <p>また、積極的に地域に関わってください。今後の進展を期待しております。</p> <p>21年度上半期が経過した現在、活動状況・成果等についてご掲示いただければ幸いです。</p>	担当課回答	<p>リーダー、副リーダーを対象とする調整会議を4月以降2回実施した。またグループ内での勉強会も随時行われている。調整会議では、グループ活動内容や課題の共有、市民意見への対応など協議している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調整会議は4半期ごとに開催(4月、7月、10月、1月、3月を予定) グループ会議:7月中旬までに延べ30回(最多5回) 地域との調整:7月中旬までに24回(参加市民延べ269名) 7月の会議以降「地域おこし会議」の概要を取り決めた地区が複数報告されている。10月の調整会議で詳細を把握するが、9月の地域計画策定助成金の申請は無し。 					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
				23年度以降	有・無				

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		企画課	A1B	20						
重 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
1-1-1-1-1 市民自治の推進		2	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 市職員「地域担当制度」事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 3	市民委員会 委員意見 森野委員	この事業の推進のためには、職員のこの制度への理解、熱意が最も大切である。 その上に、地域住民の意識改革が必要である。 この事業を進めるのに一番心配なことは、地域ごとの平準化、平均化、平等性を考えることによって、地域担当職員が足かせになりかねない。 地域協議会の運営における助言が大切である。	担当課 回答	委員が心配とする件については、地域ごとの特性や課題に応じて地域が主体的にすすめるまちづくりを支援する制度であるため、平準化、平均化とは無縁の制度である。地域ごとの個性を推奨する制度であるため、コーディネーターとしての市職員のマネジメント力が試されることになる。 「地域おこし会議」への参加を通じて、市職員はまちづくりの支援を行っていく。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		企画課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
重 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
1-1-1-1-1 市民自治の推進		2	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 市職員「地域担当制度」事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 4	鳳来 地域審議会 委員意見 梶村委員	大変良い事業だと理解します。 複数の行政区の集合体を想定した15地区割りとのことですが、行政区事業もあり15地区に想定する必要はないと思われます。行政区の再編を進めている関係もあり、行政区とのコンセンサスを得るために、もっと担当職員が積極的に動くべき配慮が必要だと思います。	担当課 回答	15の地区割りは、市職員の担当地区を表したものであり、各グループの中でのまちづくりの単位を示すものではありません。行政区再編は、行政区運営の効率化・維持などを目的に、自主的な再編を検討いただくもので、今回の地域担当制度の地区割りや地域計画の策定範囲をもって行政区再編を進めるものではありません。 地域担当制度は、地域の自主的なまちづくりを支援する制度であり、地域計画の策定範囲についても、これまでの行政区の枠を超えた新たな発想・視点からまちづくりを考えるために、複数の行政区の集合体や小学校区を最小単位とするよう提案しているものであり、グループ数をはるかに超える数の地域計画の誕生を想定しています。また、制度の説明は行政区単位でも対応させていただいています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

				シートNO							2
1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)							
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		企画課	A1B	20							
重 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
1-1-1-1-1 市民自治の推進		2	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0	
事務事業名 (2) 市職員「地域担当制度」事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0	

意見 番号 5	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	市民側の理解が不十分。 市民側に「やらされる感」がある。 行政側からの説明・事例の紹介をもっとすべき。	担 当 課 回 答	現在、15のグループ毎に、地域内の区長さんとの調整が進められており、行政区単位での説明会や地域おこし会議への幅広い階層の参加を通じて、本制度の趣旨の理解、制度の目的である「市民の自主的なまちづくり活動の支援」を進めていきます。 担当職員は、「まちづくり」や、制度がめざす「市民自治社会」のあり方、「行政」のあり方について、地域おこし会議への参加を通じ、市民の皆さんとの話し合いを進めてまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

				シートNO							9
1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)							
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている		じょうほう課	A1B	20							
重 1-1-1-3 市民ニーズを把握します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
1-1-1-3-1 広聴の充実		9	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0	
事務事業名 (1) パブリックコメント活用事業		20年度評価	D	23	0	0	0	0	0	0	

意見 番号 6	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	市計画等の策定にあたり、その計画に関連する市民や団体などに直接意見を聞く場(意見の募集だけでなく)をもうけたらどうか。	担 当 課 回 答	市が策定する多くの計画は、専門的な知識を持つ学識経験者と市民で構成する委員会で検討し、市事務局側での資料や蓄積情報をもとに策定していました。しかし、最近の計画は、計画策定時点において、アンケートや市民懇談会、市民意見交換会など行い、市民の意見を計画に反映させる方法を取り入れていますので、より多くの市民の方の意見を取り入れたものとなっています。このパブリックコメントは、最終の意見募集で、策定段階での市民意見とのすり合わせといった意味もあります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている	じょうほう課	A1B	20						
	重 1-1-1-3 市民ニーズを把握します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
	1-1-1-3-1 広聴の充実	9	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) パブリックコメント活用事業		20年度評価	D	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 7	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	市民の視点を知る上で必要な項目であり、主管課の方針に左右されることなく、手段、内容の簡素化などを含め、検討を行い、継続すべきと思います。	担当課 回答	現在のパブリックコメントの意見募集対象項目では、基本的な計画、条例の制定・改廃はもちろん市民生活に重要な事項についても対象となっています。今後こうした市民生活に直接に影響を及ぼすものについても積極的に公表し、パブリックコメントに挙げていくことになると考えています。ちなみに、最近のこの項目に該当する案件は、平成19年11月に行った投票区再編に関する意見募集がありました。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている	じょうほう課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 1-1-1-3 市民ニーズを把握します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
	1-1-1-3-1 広聴の充実	10	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 市長への提言		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 8	鳳来 地域審議会 委員意見 今井委員	市民の声を聞くことは大事なことだと思います。是非お忙しいですが時間を作って頂いて意見が言いやすいような企画で、多くの市民の生の声が聞けて市政に反映されることを期待しています。	担当課 回答	毎年、直接市民の声を聞く目的で、市長が地域に出向き「市政報告・懇談会」を行っています。平成21年度は市長選挙があったことから実施していませんが、今後も継続していきますので、多くの市民の生の声を聞くことができると考えます。 また、職員の地域担当制度も平成21年度から稼働しました。地域計画を策定することが目的ではありますが、策定過程段階でまちづくりに対する多くの声を聞き所管課に情報提供し、市政に反映させることも可能になると考えます。また、当然従来からある「市長への手紙」「市長へのメール」を継続していきますので、市民からの直接提言の門戸はかなり広がっていると考えています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている	秘書室	C	20	0	0	0	0	0	0	
重 1-1-1-3 市民ニーズを把握します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
1-1-1-3-2 市民ニーズの把握	13	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0	
事務事業名 (3) 市政報告懇談会事業	20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0	

意見番号 9	鳳来 地域審議会 委員意見 梶村委員	継続的に実施すべきでないでしょうか。 予算にしても、行政の問題点についても、また、地域の課題についても身近で聞き、話し合えることが、行政評価の高揚、信頼感を増長することになるものと確信します。 市民ニーズに応える1つの手段としてとらえていただいきい。	担当課 回答	市民ニーズの把握には大変有意義な事業であり、継続実施に向けて検討していきます。 本年度につきましては、市長選挙があることから実施しないことにしました。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1-1-1 市民が協働しやすい環境が整っている	秘書室	C	20	0	0	0	0	0	0	
重 1-1-1-3 市民ニーズを把握します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
1-1-1-3-2 市民ニーズの把握	13	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0	
事務事業名 (3) 市政報告懇談会事業	20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0	

意見番号 10	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	市のトップにより市政は動くのであるから、市民との懇談会は市民ニーズではないか？ 担当制度と同一視する必要はない。	担当課 回答	この事業は市長の発案により始めたものであり、市長が市政の現状や課題などを報告し、直接市民の声を聞くことができる大変有意義な事業ですが、スケジュールなど諸般の事情により実施については、その都度検討しています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-2 広域連携・交流が進んでいる	企画課	A2B	20						
1-1-2-1 広域連携・交流を進めます	シート頁	市民協働指数	21	457	0	0	0	0	457
1-1-2-1-2 広域市民交流の推進	16	②行政主導	22	500	0	0	0	0	500
事務事業名 (1) 三河の山里活性化事業	20年度評価	A	23	500	0	0	0	0	500

意見番号 11	市民委員会 委員意見 森野委員	「山里の活性化」という表現のイメージと事業の客が合致していない。「区域内の自治体による共通問題の協議・検討」ということの内容が不明確である。また、平成22年度から事業の抜本的見直しとあるがその内容が説明不足である。夢のある事業が描けない。	担当課 回答	1三河の山里活性化事業は大きく2つの事業で構成されています。 ①都市部で物販や啓発を行い山間部をPRする ②都市部の人をツアーなどで実際に山間部につれてくる ですので、山里の活性化の全てを担う事業ではありません。お客も目的に沿って参加していただいています。 2どうやって山里に人(お客)を呼ぶかを愛知県を含め区域内の自治体で検討しています。 3事業の見直しは、現在継続して行っている①と②の事業を、別の事業にするか、現行でいくか。一度効果的なものを考えてみようというものです。					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
			23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-2 広域連携・交流が進んでいる	企画課	A2B	20						
1-1-2-1 広域連携・交流を進めます	シート頁	市民協働指数	21	457	0	0	0	0	457
1-1-2-1-2 広域市民交流の推進	16	②行政主導	22	500	0	0	0	0	500
事務事業名 (1) 三河の山里活性化事業	20年度評価	A	23	500	0	0	0	0	500

意見番号 12	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	具体的にどのような見直しになりそうでしょうか？ 内容によっては、予算は必要でしょうか？	担当課 回答	三河の山里活性化事業は、大きく2つの事業で構成されています。 ①都市部で物販や啓発を行い山間部をPRする ②都市部の人をツアーなどで実際に山間部につれてくる 事業の見直しは、名古屋で行う「農林水産フェア」に継続して出展している①を継続するのか、単独でイベント開催するのか、違うイベントと共催するのかなどや②のツアー事業を含め、全く別の事業にするか、現行でいくか。一度効果的なものを考えてみようというものです。 予算は、現在も実行委員会に負担金として支払っています。					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
			23年度以降	有・無					

											シートNO	17
1 市民自治社会創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-1 市民と行政が協働する「山の湊」						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-1-2 広域連携・交流が進んでいる				企画課	A2B	20						
1-1-2-1 広域連携・交流を進めます				シート頁	市民協働指数	21	457	0	0	0	0	457
1-1-2-1-2 広域市民交流の推進				17	②行政主導	22	500	0	0	0	0	500
事務事業名 (2) 交流居住事業				20年度評価	A	23	500	0	0	0	0	500
意見番号 13	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	交流推進に限らず、農地付き借家の検討もお願いします。	担当課 回答	交流居住事業は、空き家や農地をすぐに貸し出すのではなく、地域と交流をする中でお互いを知ってから居住の話しを進めるものです。また、その交流の中で貸し物件が出ることも期待しています。そういった支援を行政が行います。農地付き借家もちろん事業の通過点の中です。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

											シートNO	18
1 市民自治社会創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている				企画課	A1B	20						
重 1-2-1-1 市民活動を応援します				シート頁	市民協働指数	21	6000	0	0	0	0	6000
1-2-1-1-1 市民活動への支援				18	⑤市民主体	22	10000	0	0	0	0	10000
事務事業名 (1) めざせ明日のまちづくり事業				20年度評価	A	23	10000	0	0	0	0	10,000
意見番号 14	市民委員会 委員意見 八木委員	1、制度の基本における事業の見直し度は低いが、参加を拡大し、市民に密着した制度に育てるために運用上見直すべき課題がいくつかあるように思われるがどうか？ 2、地域担当制の浸透状況によって地域計画の内容(質)と量は大きく変わると思われるが、制度の見直しにどのように反映すべきと考えているかお聞きしたい。 3、また関連して、「行政区支援・運用事業」の「行政費交付金の検討(制度一本化)」との関連についても説明してください(28頁)	担当課 回答	1、市と各地域審議会委員と課題を共有、議論する場を設け、見直しを行っていきます。 2、今後、策定される地域計画の策定区域範囲、数、事業量等の把握を行い地域計画の事業実施における制度の見直しを行っていきます。 3、行政区交付金の制度一本化については、合併後の未調整事業とされてきましたが、平成21年度から世帯数に応じ均等割り額に差を設けることで、制度を統一した。しかし、区長報酬(行政からの依頼業務に対する対価)とは別に支払われる同交付金の交付目的を明確化する必要があり、行政区の役割あり方に対する統一した見解の整備が不可欠である。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

				シートNO		18					
1 市民自治社会創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他
		1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	企画課	A1B	20						
		重 1-2-1-1 市民活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	6000	0	0	0	0	6000
		1-2-1-1-1 市民活動への支援	18	⑤市民主体	22	10000	0	0	0	0	10000
事務事業名 (1) めざせ明日のまちづくり事業			20年度評価	A	23	10000	0	0	0	0	10,000
意見 番号 15	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	各団体からの申請事業を関連する各部署に振り分け、その部署と市民団体が協働してやれる事業に発展させる(コーディネートを企画が行う) 小さな団体が小さなことを単発でやるとそれだけで終わってしまう。行政と市民(団体)が協力して継続してやらないと発展性がない。	担当課 回答	各団体からの申請事業については、関係課に情報提供を行っていきます。ご提案の件については、現在の自主的なまちづくり活動の支援の発展型として方法等を検討したいと考えます。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無						
				23年度以降	有・無						

				シートNO		20					
1 市民自治社会創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他
		1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	じょうほう課	A2A	20						
		重 1-2-1-1 市民活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
		1-2-1-1-1 市民活動への支援	20	②行政主導	22	5560	0	0	0	0	5560
事務事業名 (3) 市民活動サポートセンター管理事業			20年度評価	A	23	5560	0	0	0	0	5,560
意見 番号 16	市民委員会 委員意見 井上委員	25頁との関連が有ると思います。 内容が今一つわからない。 市職員が必要なのか疑問。 ※(市民委員会での内容確認) ・サポートセンターの運営形態、内容が知りたい。そのうえで市がどう関与すべきなのか、市が関与する必要性はあるのか。事務事業評価を踏まえ市の考えを教えていただきたい。	担当課 回答	市民活動サポート事業は、今後市民協働のまちづくりを推進していく上でたいへん重要です。市民活動サポートセンターは、平成17年5月に、はつらつセンターを拠点に開設しました。センターには、常駐職員はいませんが、市民ボランティア数人の運営委員が、月1回の運営会議、市民活動団体交流会の開催などセンターの運営に協力しています。 また、センターは、常駐職員はいないもののオープンになっており、市民活動団体のパンフレットやコピー機(有料)を置き、登録をすれば、センター内の会議室を無料で借りることができます。(使用は午後10時まで可能)さらに、相談業務をNPO法人しんしろドリーム荘に委託し、活動資金や活動に関する悩みなどのアドバイスを行っています。今後公共的な役割を果たす市民活動団体を支援していくためには、常駐職員が必要となります。豊橋市や豊川市などでは、指定管理制度のもと常駐で民間のNPO法人が管理・運営を行っています。当市でも、将来的にそうした方向での運営を考えていますが、まずは職員が常駐することでその基礎を作っていきたいと考えています。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	無						
				23年度以降	無						

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	じょうほう課	A1B	20						
	重 1-2-1-1 市民活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	403	0	0	0	0	403
	1-2-1-1-1 市民活動への支援	22	②行政主導	22	403	0	0	0	0	403
事務事業名 (5) 東三河市民活動推進協議会事業		20年度評価	B	23	403	0	0	0	0	403

意見番号 17	新城 地域審議会 委員意見 山口委員	どすごいネットの運営について参加(登録)団体は、40前後ですが、パソコンでインターネットブログを見ても活動はしてない。 交流会、勉強会が少ないのではないかと思います。新城地区だけでも勉強会をやるべきではないか。	担当課 回答	市民活動サポートセンター運営事業で、市民活動の活性化と情報交換などのため、毎年1回団体同士の交流会を行っています。平成20年度は、さくら座和音を会場に19の団体と個人が集まり、様々な情報交流を行いました。平成21年度は、市民活動をより具体的に支援するため、勉強会として「PRちらし作成技術講習会」を新たに行う予定です。また、従来の交流会についても、多くの団体が参加しやすい工夫をしようとして運営委員とともに企画しています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	企画課	A1B	20						
	重 1-2-1-1 市民活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	28500	0	0	0	0	28500
	1-2-1-1-2 市民活動の拠点整備	24	②行政主導	22	30000	0	0	0	0	30000
事務事業名 (5) 集会施設整備助成事業		20年度評価		23	30000	0	0	0	0	30,000

意見番号 18	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成21年、28,500,000円を平成22年30,000,000円とした理由	担当課 回答	集会施設整備助成はその上限は1500万円となっており、事業費、世帯数等により補助額は決定される。H21年は2棟補助する予定であり、前年度からその相談があり、補助予定額はほぼ決定しており予算決定されています。来年度以降は2棟分を想定し事業費を計上しました。なお、H22年度の補助金を利用した集会施設の建設予定の情報が今現在寄せられていないので、予算要求時までには情報がない場合は予算計上は見送ります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている		企画課	A1A	20						
重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します		シート頁	市民協働指数	21	300	0	0	0	0	300
1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化		26	②行政主導	22	1350	0	0	0	0	1350
事務事業名 (1) 地域自治区調査・研究事業		20年度評価	D	23	1350	0	0	0	0	1,350

意見 番号 20	市民委員会 委員意見 安藤委員	一覧表の判定では、A1Aとなっているが26頁ではA1Bとなっている。どちらが正しいのか。	担当課 回答	A1Aが正しいです。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている		企画課	A1A	20						
重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します		シート頁	市民協働指数	21	300	0	0	0	0	300
1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化		26	②行政主導	22	1350	0	0	0	0	1350
事務事業名 (1) 地域自治区調査・研究事業		20年度評価	D	23	1350	0	0	0	0	1,350

意見 番号 21	市民委員会 委員意見 井上委員	市民委員による検討チームを早く立ち上げて下さい。 代表区長及び区長による検討も数多く設けるのが必要、27頁に関連する。 ※(市民委員会での内容確認) ・調査研究を進めるにおいて、区長を議論に加えてほしい。分権のプロセスをどう考えているのか、早めに市民に示されたい。	担当課 回答	地域自治区調査研究事業は、21年度は庁内検討による法制度の解釈や先例地の事例調査を予定している。市民を交えた検討は22年度からとしており、順を追って進めたい。 地域自治の研究においては、現在の行政区のあり方を十分検討し、位置づけを明確にする必要があり、代表区長会等への報告を併行して進めていく。 分権のプロセスについても、今年度10月発足予定の庁内検討チームで検討し示していく。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている		企画課	A1A	20	0	0	0	0	0	0
重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します		シート頁	市民協働指数	21	300	0	0	0	0	300
1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化		26	②行政主導	22	1350	0	0	0	0	1350
事務事業名 (1) 地域自治区調査研究事業		20年度評価	D	23	1350	0	0	0	0	1,350

意見番号 22	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	行政の基盤である自治区は早急に制度実施が肝要である。	担当課 回答	地域自治区の導入は、総合計画に掲げた重点プロジェクトであり、市民自治社会の創造にとって必要な制度と考える。庁内プロジェクトやその後の市民を交えた検討を通じ、本市に馴染む制度の構築をめざす。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている		総務課	A1B	20						
重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化		27	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 行政区再編事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 23	市民委員会 委員意見 森野委員	「行政区及び区長会組織(案)一覧表が、平成21.1.28付で提案されている。たたき台としての案とは言え、市民には全く知らされていないまま、半年以上過ぎている。たたき台が既成事実化され、その案が一人歩きする可能性がある。小さな区は解消されているとは言え、不平等、不公平感はいなめない。市民をまき込んでの議論を進め、後世に禍根を残してはならない。	担当課 回答	行政区再編のたたき台としての案を行政区長へ提示し、平成21年度の区長への引き継ぎをお願いしました。各行政区で活発な議論を期待するところですが、ご意見のような状況を解消するため、改めて行政区長を通じ区民への周知が必要と考えます。押し付けの再編ではなく、自らの選択、決定による再編となるよう各行政区での検討を引続きお願いしたいと考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	総務課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
	1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化	27	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 行政区再編事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 24	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	4年経過しても合併前と同じではシンポが無いが、多少の変更はあった。再編は自治区と切れない関係にあり、よく考慮が必要と思う。	担当 課 回 答	合併以後、鳳来地区の川合、大野、上吉田地区で自主的な行政区再編を進めていただいたところです。地域自治区と行政区再編が並行して検討される状況下において相互の関連性、考え方について整理する必要があると考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	総務課	A1B	20						
	重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
	1-2-1-2-1 地域内分権の担い手の組織化	27	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 行政区再編事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 25	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	行政区の規模の格差は地域自治機能の内容、速度などのバラツキの原因となるため、年度にとらわれず、早期の再編成が必要。	担当 課 回 答	行政区の歴史的変遷、伝統などそれぞれが異なるため、一律に再編を実施することは困難であり、行政区再編に関する議論、検討により区民の意思を反映した再編が望ましいと考えます。行政区再編に関する検討の進捗状況も違うため、準備ができたところから再編されるものと考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	総務課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します	シート頁	市民協働指数	21	20347	0	0	0	0	20347
	1-2-1-2-2 行政区支援・運営事業	28	③双方対等	22	20347	0	0	0	0	20347
事務事業名 (1) 行政区活動交付金事業		20年度評価	A	23	20347	0	0	0	0	20,347

意見番号 26	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	行政区と地域自治区は裏腹であり、26,27,28頁は関連した事業である。基本は自治区を誕生させ、補助金ではなく、交付金であることが合併そのものの意義がある。	担当課 回答	合併後懸案となっていた行政費交付金の交付基準を統一しましたが、行政区の規模格差もあり、行政区間の意識の違いも存在する状況です。地域自治区と行政区の関連についての認識も一律ではなく、地域担当制をはじめとして、いろいろな機会を活用して調整を図っていく事項であると考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている	総務課	A1B	20						
	重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
	1-2-1-2-2 行政区支援・運営事業	28・29	③双方対等	22	0	0	0	0	0	
事務事業名 (1・2) 行政区活動交付金事業・代表区会運営事業		20年度評価		23	0	0	0	0	0	

意見番号 27	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	事業費は別々でしょうか、同一事業費でしょうか？	担当課 回答	行政区活動交付金は、市行政の円滑な推進のため交付するもので、行政区活動を維持する経費として行政区に交付しているものです。代表区会は、行政区の区長の代表10名で構成され、行政と行政区との連絡調整、要望等の取りまとめ、行政区に関する課題等の意見交換などを行うものです。行政区・区長に関連はしますが、別の事業です。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)					
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る									
1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている		総務課	A1B	20	0	0	0	0	0
重 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0
1-2-1-2-2 行政区支援・運営事業		30	②行政主導	22	0	0	0	0	0
事務事業名 (3) 行政区要望取りまとめ事業		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0

意見 番号 28	新城 地域審議会 委員意見 山口委員	区民の要望等を区によって色々あると思いますが、農業の多い地区では、田、畑に関係した要望が多い。この為ページ289の農村環境を保全します。(4-1-2-1-4(1))この事業と同様に思います。事実、役員、委員は区役員は数名含まれております。会計等もあいまいな所もあり(保全隊はムダと思われる)	担当課 回答	地区要望の内容も多岐にわたりますので、行政区及び区長の窓口である総務課で、取りまとめを行っています。ただし、直接所管課に要望書が出されたり、所管課から区長に直接要望書提出依頼がされていることもあり、見直しの必要もあると考えています。					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
				23年度以降	有・無				

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
		総務課、企画課		20	0	0	0	0	0	0
		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
		2,30		22	0	0	0	0	0	0
事務事業名		市職員「地域担当制度」事業 ほか	20年度評価	23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 29	鳳来 地域審議会 委員意見 加藤委員	<p>地区の自治組織に係ることから、区長の役目(職務)についてお聞きしたい。</p> <p>地区により、区長会が自治組織であるところの区長とそうではなく別に自治組織があるところの区長とがあるが、双方の区長には役割や意識にかなりの差異があると思われる。2頁の事業の内容には「区長との調整」、30頁の事務の概要には「区長を通じて行政へ提出される要望書により」とあり、区長が行政の窓口であるとすれば区長の役目について、市として当いつする必要があると思うが如何か。</p> <p>区長以外の者(総代等の地区で決めた統括者)がその代役(行政との窓口)になることは可能か。</p>	担当課 回答	<p>現在の行政区は、市規則で規定された「行政情報の伝達及び収集の効率化を図ることを目的に(市が)設置する」という行政組織としての役割と、旧来から地域内の課題の解決や良好な住環境作りを担う地域自治組織(自治会)としての役割の両面を合わせ持つ地縁型組織といえます。</p> <p>一方、区長の役割は、同規則で(1)市と区の連絡及び調整。(2)広報その他の文書の配布。(3)区の要望事項の連絡調整。とされており、職務の対価として「非常勤職員報酬」が支払われ、全市的に区長の役割は統一されており、異なるのは地域ごとの自主活動(自治会活動)の差異である。</p> <p>ただし、行政区を行政組織(区長は非常勤の市職員)とするのか、自主的な自治会組織(自治会長の業務に対する報酬は委託契約)とするのか、地域内分権との関係で整理する必要があり、地域内分権庁内検討会の席で、合わせて検討していく。</p> <p>行政区長については、「新城市行政区の設置に関する規則」によりその職務を定め、市長が委嘱しています。ご意見のような状況もあるところですので、行政区の再編案の協議と併せて検討を進めていただき、現実に合致する形で区長選出をお願いしたいと考えます。</p> <p>ご意見の後段部分につきましても、地区で決めた統括者が区長となるようお願いしたいと考えます。</p>					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
23年度以降	有・無								

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	1-2-2 市民同士の交流や融和が進んでいる	企画課		20						
	1-2-2-2 市民融和を進めます	シート頁	市民協働指数	21						
	1-2-2-2-1 市民融和の推進	35・36・37		22						
事務事業名		20年度評価		23						

意見番号 30	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	個人差はありますが、憲章及び市花の急ぐことが、市民融和に大きな価値がなく、式典につきましても、10年ごともよいと思われ、より縮小を望む。	担当課 回答	市の花・木等については、合併協議で「新市で定める」としており、合併5周年となる22年度に制定予定です。一方、市民憲章については、制定の必要性を含めて「新市で検討する」としており、10周年を目的に検討を進めます。いずれの事業も、新市としての一体感を醸成する事業として位置づけており、記念式典の開催頻度についても、1周年(実施済み)、5周年、10周年以降は、その規模を含めて検討すべき事項と考える。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	1-2-3 男女共同参画の意識が浸透している	じょうほう課	C	20						
	1-2-3-2 男女平等意識の浸透を進めます	シート頁	市民協働指数	21	365	0	0	0	0	365
	1-2-3-2-1 男女共同参画意識の啓発	40	③・①	22	365	0	0	0	0	365
事務事業名 (1) 男女共同参画の啓発事業		20年度評価	B	23	365	0	0	0	0	365

意見番号 31	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	啓発に関する講演会の持続よりも、保育、子育て、人材登録などにお金を回したほうが、女性の進出のためになるのではないかと思います。	担当課 回答	市では、平成19年度に市民意識調査を実施し、これを基に平成20年度に男女共同参画プランを策定し、今年度から総合的かつ計画的に推進しています。市民意識調査によると、「男女平等」については、学校教育では平等の割合が50%を超えているが、社会全体では、平等の割合が14.6%となっています。また、「男は仕事、女は家庭」については、賛成の割合が37.8%、反対が48.3%で、性別に基づく役割分担意識が根強く残っています。このことから、今後も一人ひとりが社会制度や慣行の中に固定的役割分担意識が残っていることに気づき、自ら意識を変えることの必要性を認識するために広報・啓発は必要と考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	1-2-4 国際化への対応が進んでいる	企画課	B	20						
	1-2-4-1 多文化共生を進めます	シート頁	市民協働指数	21	180	0	180	0	0	0
	1-2-4-1-1 外国人への支援	42		22	200	0	200	0	0	0
事務事業名 (1) 外国人相談事業		20年度評価	B	23	200	0	0	0	200	0

意見番号 32	新城 地域審議会 委員意見 鈴木委員	多分化共生事業は、単発の事業ではなく、草の根的な継続的な取り組みが効果大きいと思われる。そういう意味では行政が苦手とする分野であり、国際交流団体外国人にゆかりのある民間の人材を有効に活用することのメリットが大きいと思われる。指標に市民アンケートを用いているが、外国人の側から見た評価を入れるとギャップがあるように思われる。外国人が困っているのは、相談員、相談窓口の回数を増やすことでひとまず改善でき、そこから新たなニーズが把握できるのではないか。イベント、語学教室、外国語看板、交流事業など、しっかりとニーズと成果をみきわめないといけない。	担当課 回答	現在、在住外国人の各種相談を解決するため、母国語の相談員による相談を月に2回開催しています。このほかにも、病院の案内をポルトガル語に翻訳したり、保健の伺い様式をポルトガル語に翻訳するといった、地道な事業を続けております。また、民間の国際交流団体と協力した事業の展開も実施しており、ニーズに合った事業内容となるよう努力しております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	1-2-4 国際化への対応が進んでいる	企画課	B	20					
	1-2-4-1 多文化共生を進めます	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0
	1-2-4-1-2 異文化理解の推進	44・45		22	0	0	0	0	0
事務事業名		20年度評価		23	0	0	0	0	0

意見番号 33	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	市民の国際理解の不足もありますが、外国人にも日本における慣習、文化の理解を求めます。	担当課 回答	外国人に対して日本の文化を理解するための事業としましては、在住外国人の人数が一番多いブラジル国籍住民に対し、広報のポルトガル語ページを作成してゴミ出しのルールや、各種イベントの紹介などを行っています。海外に向けた日本文化の紹介については、市民派遣、高校生派遣を通して日本文化を海外友好としにて披露しています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

1 市民自治社会創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
1-2 市民が主役の「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1-2-4 国際化への対応が進んでいる		企画課	B	20						
1-2-4-2 国際交流活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	1200	0	1200	0	0	0
1-2-4-2-1 国際交流の推進		48	③双方対等	22	200	0	200	0	0	0
事務事業名 (3) 市民交流事業		20年度評価	D	23	1200	0	200	0	1000	0

意見番号 34	市民委員会 委員意見 塩瀬委員	<p>お隣の豊根村では、愛知万博の姉妹都市の交流インを毎年受け入れていて、そこでは日本語も教えているそうです。本市でも人と人との交り合いの機会をもっと増していく必要があると思われる。単に来訪者を受け入れるのではなく、積極的に新都市の文化等を教える場所と時間を作っていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・新都市に「市の文化」を発信する企画があるのか知りたい。</p>	担当課 回答	<p>現在、国際交流員は受け入れておりませんが愛知万博で交流した国々のイベントを毎年開催しております。また、アメリカのロアノーク郡とは、小学生同士の俳句交流を6年間続けており、こうした友好都市との市民レベルの交流を進めることで、将来的には交流員としての受け入れも生まれるものと期待しております。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの方が訪れている		観光課	A1A	20	0	0	0	0	0	0
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	2500	0	0	0	0	2500
2-1-1-1-1 観光基本計画の策定・推進		51	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) 観光基本計画推進事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 35	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	<p>県にも観光基本条例なるものがあり、観光事業は時代に左右されるもので、事業主の発送の転換が求められる。</p> <p>2~3年前、行政区長に会員募集があり同地区では異論あり、その後の経過を知りたい。</p>	担当課 回答	<p>現在、観光基本計画策定委員会を設置し、市の観光基本計画を策定しているところです。ご意見の会員募集は観光協会の会員についてのことと思われるのですが、観光戦略を推進する上で、観光事業者だけでなく地域のおもてなしの心で観光客に接していただくことがイメージアップにつながるものであることから、地域の代表である区長さんにも加入をお願いしたものです。また、市観光協会の財政基盤は市の補助金に依存するところが多く、自主財源である会費収入を確保し事業を展開していく必要があることから、広く市民に会員加入をお願いし、観光協会の活動を安定したものにしたいと考えています。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている		観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	17040	0	0	0	0	17040
2-1-1-1-2 観光イベントの実施		52	③双方対等	22	17040	0	0	0	0	17040
事務事業名 (1) 市観光協会援助事業		20年度評価	B	23	17040	0	0	0	0	17,040

意見 番号 36	市民委員会 委員意見 八木委員	<p>成果指標達成を目標に市・観光協会・諸団体と連携する従来型のイベントを充実・強化(継続)するだけでなく、将来の観光事業開発に向けた布石を打つような新しい事業(取組)が必要ではないか。新しい担い手による、新しい発想のイベントが地方の小都市で成功している事例も多く見られる経験から学び、市民(グループ)の観光企画提案コンクールを実施してはどうか。「めざまち」の特別テーマ募集企画でも不可能ではないが、観光協会援助事業として予算化してはどうかと思う。</p>	担当課 回答	平成19年度に旧3市町村の観光協会が一本化され、各観光協会で行われていた観光イベントを引き継いで実施しているのが現状です。本来、観光行政は、時代とともにニーズが変化しその時代にあったイベントを展開することが望ましいと思いますが、市観光協会の財政面での制約があり、新たな事業の展開が難しい状況にあります。今後は、既存のイベント内容についてもニーズに合わせた見直しが必要であり、時代に即応した企画を展開していくよう検討していきたいと考えています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている		観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	17040	0	0	0	0	17040
2-1-1-1-2 観光イベントの実施		52	③双方対等	22	17040	0	0	0	0	17040
事務事業名 (1) 市観光協会援助事業		20年度評価	B	23	17040	0	0	0	0	17,040

意見 番号 37	市民委員会 委員意見 井上委員	<p>イベント内容の見直しと協会委員の奮起を願う。お客を呼び込むのは、観光に携わる本人である事を！</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・観光協会役員のメンバー構成を見ると、多種多様な団体が並んでいるが、代表者の集まりではなく、もっと若い人たちを組み入れた組織とすべきではないか。 若い観光事業者の声を活かす場の設定を考えられないか？</p>	担当課 回答	市の観光協会が実施していますイベントの殆んどは、市町村合併前に企画されていたイベントを引き継いで開催しております。市観光協会の事業計画は、理事会、総会に諮られ決められていますが、本来観光イベントを実施するのは観光に携わる民間事業者を中心とする方々が実施されるべきものではないかと考えます。運営形態も長年の慣習により開催していくのではなく、新たな組織づくりも必要ではないかと考えます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている		観光課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	17040	0	0	0	0	17040
2-1-1-1-2 観光イベントの実施		52	③双方対等	22	17040	0	0	0	0	17040
事務事業名 (1) 市観光協会援助事業		20年度評価	B	23	17040	0	0	0	0	17,040

意見 番号 38	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	21年度、七滝まつり、補助金0円となり、急なことで阿寺地区の皆さんが大変悩まれた経緯あり、計画性のない事業は地区民に迷惑である。	担当課 回答	平成19年度に市観光協会が一本化されましたが、旧鳳来観光協会は各支部制度体制で運営され、それぞれの活動に対し助成をしていました。一本化後は支部制度を廃止しそれぞれの支部活動に対する助成も廃止する方向で調整されてきました。 阿寺七滝まつりは、旧鳳来観光協会が支部活動として支援していたもので、平成19年度に支部活動を廃止してから経過措置として20年までは支援させていただきました。しかし、市観光協会の財政状況が予想以上に悪化したため、今年度から金銭的支援を取りやめ人的な支援を継続させていただきました。今回の、七滝まつりに対します補助金の削減につきましては、事前の連絡が徹底されていなかったことなど、ご迷惑をおかけして申し訳なく思っております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている		観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	1952	0	0	0	0	1952
2-1-1-1-3 「観光のまち新城」のPR		53	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) 観光のまち 新城 PR事業(印刷物作成事業)		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 39	市民委員会 委員意見 井上委員	自己負担を視野に入れる。 ※(市民委員会での内容確認) ・観光事業への行政の関与はどうあるべきか。事務事業評価における必要性を精査すべきではないか。特に市からの支出が大きい印刷物(観光協会)は、事業者負担を含めて考えるべきではないか。	担当課 回答	現在、市の観光ガイドマップのほかに、市観光協会です新たに観光事業者等の名称を記載したパンフレットを作成しています。このパンフレットには、それぞれ観光事業者から作成にかかる経費を負担していただき、作成したいと考えています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造			担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る					年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている			観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます			シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-1-1-1-3 「観光のまち新城」のPR			54	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 観光路線バス検討事業			20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見番号 40	市民委員会 委員意見 加藤委員	<p>市内にあるJR飯田線の駅を発着場とし駅周辺の活性化も期待し、市内の主要観光地を巡るコースの他、178頁(戦国史跡めぐりコース整備事業)等の事業を推進し、これらを含めたコースを設定し、入込み客の増加を図れないものかと思えます。</p> <p>事業を進めるには関係団体との協議等煩雑な点もあるかと思えますが、51頁の観光基本計画推進事業とも絡めて極力推進を望みます。積極的に取り組んでください。</p>	担当課 回答	市観光基本計画の重点課題として広域観光ルートの設定や歴史・史跡を活用した新たな観光を視点とした取り組みを検討課題として積極的に協議し、推進を図りたいと考えています。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)				見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度		有・無		23年度以降		有・無	

2 自立創造			担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る					年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている			観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます			シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-1-1-1-3 「観光のまち新城」のPR			54	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 観光路線バス検討事業			20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見番号 41	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	民間事業ではなかろうか？	担当課 回答	観光客ニーズをいかに把握し、民間バス事業につなげていくのかを検討する会議を計画しており、実際にバス事業者等が加わって、テスト走行の過程をへて、採算性の問題を可能な限り試算し、民間事業者等への路線の提言を図っていきます。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)				見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度		有・無		23年度以降		有・無	

				シートNO		54						
2 自立創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている				観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます				シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-1-1-1-3 「観光のまち新城」のPR				54	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 観光路線バス検討事業				20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見番号 42	新城 地域審議会 委員意見 山口委員	提案 北海道でテスト走行しているレール、道路両方走行できる車をJR本長篠駅一鳳来寺山一湯谷温泉 周遊コース。飯田線を利用する。	担当課 回答	観光地をアピールする上で、注目を浴びる施策は欠かすことができないものと考えています。今後、あらゆる意見をお伺いし観光方策を検討してまいりたいと考えています。バス事業者と鉄道事業者をいかに連携して、観光客の足の確保をしていく方法のひとつとして検討してまいりたいと考えています。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

				シートNO		56						
2 自立創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人を訪れている				観光課	A1B	20						
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます				シート頁	市民協働指数	21	37855	0	0	0	0	37855
2-1-1-1-5 温泉源施設の維持管理				56	①行政主体	22	37855	0	0	0	0	37855
事務事業名 (1) 温泉源管理事業				20年度評価		D	23	37855	0	0	0	37,855

意見番号 43	市民委員会 委員意見 井上委員	温泉使用料の未納などないように ※(市民委員会での内容確認) ・現在、使用料の未納はあるのか？ 湯谷の利用客(使用料収入)の変化はどうか。使用料負担の公平性の面からも、未納対策は不可欠である。	担当課 回答	湯谷温泉使用料は、平成20年度決算で、8,493千円の温泉使用料が納められていない状況にあります。内訳につきましては、平成19年度以前の未収入額が7,625千円で、全てが破産手続き中の旅館に係るものです。平成20年度分に係る未収入の内訳は、4件の旅館の968千円で、今年度になってから計画的に収めていただいています。言われるように、湯谷温泉使用料を納めることは温泉を使用して旅館業を行うものの鉄則であると考えます。今後も、随時未納になっています温泉使用料の徴収業務に勤めてまいります。なお、温泉利用客数は、相次ぐ宿泊施設の閉館もあり減少しているのが現状です。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人が訪れている				20	0	0	0	0	0	0
重 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
		51~60		22	0	0	0	0	0	0
事務事業名		20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見番号 44	鳳来 地域審議会 委員意見 梶村委員	<p>観光基本計画の策定・推進事業の維持を早めるべきと考えます。</p> <p>新城市は合併効果により、観光地としての魅力を複数共有しており、内容的にも価値観に優れていると認識しております。</p> <p>自然、歴史、文化、民俗芸能、伝統行事、イベント、温泉等々、複合的な魅力の活用によるPR、集客力のUPにつながる。</p> <p>計画策定会議……行政・市民・学識者・企業等のメンバーの充実も必要。</p>	担当課 回答	<p>今年度中に市観光基本計画を策定するため策定作業をすすめています。現在、市民や観光事業者、農業、商工関係者、NPO団体などの方を策定委員に、アドバイザーとして学識経験者(大学・県観光協会)に加わっていただき、幅広い意見・提案などを市観光基本計画の策定に反映させていきたいと考えています。</p> <p>また、アンケート調査やパブリックコメントにより市民からの意見を取り入れることを予定しています。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの人が訪れている		観光課	B	20	0	0	0	0	0	0
2-1-1-2 観光施設を有効に活用します		シート頁	市民協働指数	21	24436	0	3122	0	1832	19482
2-1-1-2-1 観光施設の維持管理		61	③双方対等	22	38446	0	3122	0	1832	33492
事務事業名 (1) 自然公園施設管理事業		20年度評価	A	23	25336	0	3122	0	1832	20,382

意見番号 45	鳳来 地域審議会 委員意見 梅田委員	<p>東海自然歩道の休憩所の老朽化はひどく、柱や屋根が崩れそうで危険を感じることもあります。</p> <p>早急に直してください。</p>	担当課 回答	<p>東海自然歩道は、愛知県によって造られてから40年近くが経過し、殆どの施設が老朽化しているのが状況です。危険性のある橋梁などの構造物は、愛知県によって随時改修されていますが、トイレ、休憩所まで手が行き届いていないのが現状です。</p> <p>今後も、東海自然歩道の管理者である愛知県に対し、休憩所、トイレなどの施設の改修につきましても要望をまいります。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-1-1 市内に多くの人を訪れている	観光課	B	20							
2-1-1-2 観光施設を有効に活用します	シート頁	市民協働指数	21	24436	0	3122	0	1832	19482	
2-1-1-2-1 観光施設の維持管理	61	③双方対等	22	60036	0	3122	0	1832	55082	
事務事業名 (1) 自然公園施設管理事業	20年度評価	A	23	25336	0	3122	0	1832	20,382	

意見番号 46	市民委員会 委員意見 塩瀬委員	<p>観光施設の維持管理とあるが、R151に新都市内では道の駅と称する施設が1つありません。維持管理にとられず創造することも必要と思います。どうかR151を東通りとすることなく、少しでも観光客の足をとめることも大事であると考えます。</p> <p>※(市民委員会での内容確認) 都市計画課と調整され、五反田公園整備(道の駅)事業を説明されてはどうか。(企画課意見)</p>	担当課回答	<p>新東名高速道路新城インターチェンジ(仮称)と国道151号の接続部において、道の駅を検討しています。 面積は約1haで、構想としてはトイレ、休憩施設、観光案内、物販施設等、地域の情報発信ができる施設を検討中です。今後、マーケティング調査などを行い具体的な内容にしていきます。 整備の時期としては、新城インターチェンジが供用される平成26年を目途としています。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-1-1 市内に多くの人を訪れている	観光課	B	20							
2-1-1-2 観光施設を有効に活用します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
	61・63		22	0	0	0	0	0	0	
事務事業名	20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0	

意見番号 47	市民委員会 委員意見 加藤委員	<p>観光客が再度訪れるか否かの判断の1つに景観・交通の利便性等の他に公衆トイレの状況(清潔感・使い易い(広い)等)が占める割合が大きいと思います。 市全体への入込み客を増やすために、優先度を上げるよう望みます。</p>	担当課回答	<p>市内の観光地に今後設置してまいりますトイレにつきましては、お年寄りや障害者の方にも利用しやすいトイレを整備していきたいと考えています。 特に今まで水洗ではなかったトイレにつきましては、設置場所の条件にもよりますが原則清潔感のある観光客に対しましても好感のもてる利用しやすい水洗トイレを計画してまいります。 また、時代に合わないトイレにつきましては、事業の優先度を上げて早急に改修していきたいと考えます。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの方が訪れている		観光課	B	20						
2-1-1-2 観光施設を有効に活用します		シート頁	市民協働指数	21	53219	0	0	0	0	53219
2-1-1-2-3 観光案内板、公衆トイレの整備		63	③双方対等	22	103088	0	17000	33000	0	53088
事務事業名 (1) 自然公園施設整備事業		20年度評価	A	23	83051	0	0	0	0	83,051

意見 番号 48	鳳来 地域審議会 委員意見 梅田委員	鳳来寺山表参道登り口や本道近くの公衆トイレは、観光客が利用するにはためられるような状態です。 衛生的で快適な公衆トイレの新設を希望します。毎日の清掃等の管理面もよくなることを期待します。	担当課 回答	鳳来寺山付近のトイレにつきましては、今まで水の確保が出来ないことから清潔な水洗式トイレにすることはできませんでしたが、鳳来寺まで水道が敷設されたことで、新たに水洗式のトイレを建設する計画をしています。 平成21年度で設置場所、規模などを決定したうえで基本設計を行い、平成22年度には、お年寄りや、障害者の方でも使いやすいトイレを建設したいと計画しています。 また、トイレを清潔に管理していくためには、常日頃の清掃が欠かせないものであり、常時管理をしていく体制を建設計画のなかに盛り込んでまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-1 市内に多くの方が訪れている		観光課	B	20						
2-1-1-2 観光施設を有効に活用します		シート頁	市民協働指数	21	47,200	46,000	0	0	0	1,200
2-1-1-2-3 観光案内板、公衆トイレの整備		63	③双方対等	22	103088	0	17,000	33,000	0	53,088
事務事業名 (1) 自然公園施設整備事業		20年度評価	A	23	83051	0	0	0	0	83,051

意見 番号 49	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	成果指標、活動指標？ 一般財源が62頁ゆ〜ゆ〜と同じなのは偶然？ 内訳を明示してください。	担当課 回答	ご指摘いただいた数値は、記入誤りです。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る										
2-1-2 光ファイバーネットワークを活用した情報の受発信が盛んである		じょうほう課	A1B	20						
重 2-1-2-1 利用可能な情報システムの拡大を進めます		シート頁	市民協働指数	21	98537	0	0	0	56317	42220
2-1-2-1-1 情報基盤の管理・運営		64	①行政主体	22	91300	0	0	0	56300	35000
事務事業名 (2) 光ファイバーネットワーク維持・管理事業		20年度評価	B	23	91300	0	0	0	56300	35,000
意見 番号 49 -1	作手 地域審議会 委員意見	1、加入率(新城地区)が低いが今後どの様にしていくのか。普及のための予算は計上されているのか。 2、高齢者世帯が多く個々の負担額が多くなることが予想される。解約した場合の情報提供はどの様にしていくのか。		担当課 回答	①21年度に引き続き、引込工事費1/2補助による加入促進の継続実施の予算をしていきます。 地デジ対策を含め、更なる加入率向上を図るため、市と豊橋ケーブルネットワーク(株)が連携して、加入促進キャンペーンを実施していきます。また、市政番組や地域情報等の充実を進め、引き続き市議会放映実施や市長・市議会議員選挙開票速報放映の実施に取り組みます。 ②市民へ周知しなければならない情報提供は、市広報を基本とし、速報性や娯楽性に特徴があります防災行政無線やケーブルテレビとの補完関係にあります。 ケーブルテレビを解約した場合、音声・映像での情報提供ができなくなりま					
					見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
					22年度	無				
					23年度以降	無				

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-1-2 光ファイバーネットワークを活用した情報の受発信が盛んである		じょうほう課	A2A	20						
2-1-2-2 光ファイバーネットワークを有効に活用します		シート頁	市民協働指数	21	15646	0	0	0	0	15646
2-1-2-2-3 まちなみ情報センターの管理・活用		69	②行政主導	22	25646	0	0	0	0	25646
事務事業名 (1) まちなみ情報センターの管理・活用事業		20年度評価	D	23	15646	0	0	0	0	15,646
意見 番号 50	市民委員会 委員意見 井上委員	指定管理者を早く決定する。 指定管理運営協議会の運営内容とは？ ※(市民委員会での内容確認) ・指定管理者制度で運営されての効果を含め、具体的な運営内容、指定管理者選考の方法(施設目的に照らした審査基準など)を知りたい。		担当課 回答	平成21年12月定例会で、22年度～24年度の指定管理者の指定がなされる予定です。 指定管理者運営協議会は、運営会議委員10名で構成され、毎月1回基本協定書及び年度協定書に基づき、適切な管理・運営や事業遂行等について協議します。 (効果) 指定管理施設の運営において、コスト削減はもとより、使用時間・使用区分等の管理運営方法や新たな教室の提供、障害のある方や高齢の方にも使用しやすい施設を目指すなど、子供からお年寄りまで幅広い使用者のサービス向上・使用促進に努め、中心市街化の活性化はもとより、地域の情報化に資する施設運営や事業を展開し、指定管理者の創意工夫に基づいた取り組みを行っています。 (運営内容) 受付業務、使用者支援、パソコン教室等の提供、広報の提供、急病等・緊急時の対応、建物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、備品管理業務、保安警備業務、廃棄物処理業務、自主事業、物販事業 (指定管理者選考方法) 新城市新城まちなみ情報センター指定管理者候補者選定要領に基づき選考					
					見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
					22年度	無				
					23年度以降	無				

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-1-2 光ファイバーネットワークを活用した情報の受発信が盛んである	20	0	0	0	0	0	0	0		
2-1-2-2 光ファイバーネットワークを有効に活用します	21	15646	0	0	0	0	15646			
2-1-2-2-3 まちなみ情報センターの管理・活用	22	25646	0	0	0	0	25646			
事務事業名 (1) まちなみ情報センターの管理・活用事業	23	15646	0	0	0	0	15,646			

意見番号 51	作手 地域審議会 委員意見 森田委員	H20の評価がDランクであるのに、H21の判定がA2Aになった理由は何か？ 費用対効果の薄い事業であり、今後も多額の経費が発生するものと思われるので、抜本的見直しが必要と思われる。	担当課 回答	22年度～24年度においても、新城まちなみ情報センター指定管理者による管理・運営を行うため、毎年ほぼ一定額の指定管理料が必要となります。 国まちづくり交付金事業での建設された1施設であり、関係機関との協議を含め施設利用のあり方について検討していきます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている	20									
2-2-1-1 森林の保全・整備を進めます	21	21924	0	21924	0	0	0			
2-2-1-1-2 間伐の推進	22	49643	0	49443	0	0	200			
事務事業名 (1) あいち森と緑づくり森林整備事業	23	49643	0	49443	0	0	200			

意見番号 52	市民委員会 委員意見 森田委員	奥地林と公道沿林、それぞれの間伐面積の具体的な把握は進んでいるのでしょうか。 (H21年度 378haの内訳) 強力に進めて欲しい。 ※(市民委員会での内容確認) 面積は市の目標か？数字の中身・根拠(市がどう関わるのかを含めて)を知りたい。	担当課 回答	事業対象森林面積として10年間で、奥地林は2,820ha、公道・河川沿いは960ha、合計3,780haとなっています。年平均で378haとなります。 事業対象森林の把握につきましては、愛知県が所有しているデータをもとに設定したものです。 市の関わりとしましては、事業候補地のとりまとめ業務を県、新城森林組合と連携を図りながら進めていきます。						
				ha		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている	森林政策課	A1B	20						
	重 2-2-1-1 森林の保全・整備を進めます	シート頁	市民協働指数	21	42415	0	0	0	40280	2135
	2-2-1-1-3 水源林の整備	72	①行政主体	22	42840	0	0	0	39550	3290
事務事業名 (1) 水源林対策事業		20年度評価	A	23	42840	0	0	0	39550	3,290

意見番号 53	市民委員会 委員意見 森野委員	山林の荒廃は、急速に進んでいることは周知のことである。 それをくい止めるためには、先ず、林道(幅4m)、作業道(幅3m)の必要性は高まっている。 その中でも、作業道開設に積極的に取り組んでいただきたい。	担当課 回答	林道、作業道などの基盤整備は、間伐等の森林整備を進める上で非常に重要であると認識しています。 今後も予算の範囲内で積極的に取り組んでいきたいと思ひます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている	森林政策課	A2B	20						
	2-2-1-2 林業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	14173	0	0	0	14173	0
	2-2-1-2-1 林業従事者の育成	75	①行政主体	22	14173	0	0	0	14173	0
事務事業名 (1) 人材育成事業		20年度評価	A	23	8510	0	0	0	8510	0

意見番号 54	市民委員会 委員意見 森野委員	この事業の中身として、境界確認プロジェクトチームを立ち上げたらどうか。 不在村地主の増加に加え、地主の高齢化による境界の不明確な状態が続いている。それが、ある一定範囲(20ha前後)を集約化(団地化)して、間伐する事業の最大の阻害要因となっている。 境界確認の事業を推進したい。	担当課 回答	本事業は、作業班的な性格を持つものではなく、急務である森林整備に対応できる人材を育てていくための事業です。5カ年計画で年度ごとに研修内容が設定されており、現状では境界確認を進めていくための事業を組み込むことは難しいかと思われます。 なお、平成23年度以降に本事業の第二期がはじまるかどうかは未定ですが、今後東三河流域で事業の見直しをおこなう際には、境界確認の実務を人材育成プログラムに導入するかどうかも含めて総合的に検討していきます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている		森林政策課	A2B	20						
2-2-1-2 林業生産活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	14173	0	0	0	14173	0
2-2-1-2-1 林業従事者の育成		75	①行政主体	22	14173	0	0	0	14173	0
事務事業名 (1) 人材育成事業		20年度評価	A	23	8510	0	0	0	8510	0

意見番号 55	市民委員会 委員意見 森田委員	<p>5年目最終年を迎え、5人育成の目標達成度は？ 育成された(或いは育成中)5年は、市内のどのような職場で、どのように人力しているのでしょうか。</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・育成者はどんな場所で活躍されているのか。 ・どのくらい進んでいるのか。(5人とした根拠)、具体的などんな成果を期待しているのか。(どう活用しようとしているのか)</p>	担当課 回答	<p>5カ年計画で年度ごとに育成プログラムが設定されており、育成者ごとにそれぞれ現場での作業に従事したり技能講習を受講するなどし、所定の成果を上げています。勤務場所及び作業地については、新城森林組合が行う各作業に従事するため、新城市内一円で作業を行っています。</p> <p>この事業は、森林整備に直接携わる現場作業者を増やすこと、高齢者がいなくなった後の現場のリーダーを育成すること、若い人材を一人前にするというを目的としています。市として、育成プログラム終了後は、現場の第一線で働く若い人材が輩出されることを期待しています。</p> <p>この事業は、豊川水源基金の助成事業であり、北設楽も含めた中で5名という人数になりました。</p>									
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無								
				23年度以降	有・無								

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている		森林政策課	A2B	20						
2-2-1-2 林業生産活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	149	0	0	0	0	149
2-2-1-2-2 森林資源の調査・研究		76	②行政主導	22	149	0	0	0	0	149
事務事業名 (1) 森林資源調査・研究事業		20年度評価	A	23	149	0	0	0	0	149

意見番号 56	市民委員会 委員意見 森田委員	<p>「基本事業の目的」や「事業の内容」と「成果活動指標」の「森林学習会参加者数」や「参加者満足度」の関連性が理解できません。</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・事業の目的に照らして、指標は期待できる研究の成果を数値化すべきではないか。</p>	担当課 回答	<p>森林に関わる既存の産業(林業や製材業)だけでなく、木質バイオマスなども含めた新しい産業の確立を図るために、まず森林資源の利活用方法の調査研究を行っています。その際、新しい林業のあり方を考えるということを広く一般の方にも啓蒙するために、森林学習会を開催しています。学習会の開催により、その参加者に上記の意味合いを考えてもらうことが事業の主旨のため、参加者の満足度により事業の達成度を測ります。</p> <p>従って、「基本事業の目的」や「事業の内容」と、「成果指標・活動指標」の方向性が違うということはありません。</p>									
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無								
				23年度以降	有・無								

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている	森林政策課	B	20						
	2-2-1-3 林業基盤の整備を進めます	シート頁	市民協働指数	21	68000	0	45333	22600	0	67
	2-2-1-3-1 林道の開設	79	②行政主導	22	48500	0	32333	16100	0	67
事務事業名 「林道開設」事業		20年度評価	A	23	48500	0	32333	16100	0	67

意見番号 57	市民委員会 委員意見 森田委員	<p>現在では、森林の利用・管理作業を行ううえで、林道(又は作業道)は不可欠と考えるので、もっと優先度を上げるべきではないか。 80頁の「林道改良」事業も同様</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・資金がかかる事業であるが、道がないと作業が進まない。</p>	担当課回答	<p>林道の開設は、森林整備・施業を進めていく上で必要不可欠な施設です。 今後も引き続き、森林整備・施業において効果的かつ効率的な事業実施の実現に向け、林道の開設が着実に進むよう計画的に整備を進めていく必要があると考えております。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有 無	※全て補助事業により実施するので、国の方針によっては実施年度において変更が生じる場合があります。				
				23年度以降	有 無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている	森林政策課	B	20						
	2-2-1-3 林業基盤の整備を進めます	シート頁	市民協働指数	21	44000	0	24833	18600	0	567
	2-2-1-3-2 林道の改良	80	②行政主導	22	45100	0	25500	19100	0	500
事務事業名 (1)「林道改良」事業		20年度評価	A	23	45100	0	25500	19100	0	500

意見番号 58	市民委員会 委員意見 森野委員	<p>林道が開設されている路線については、側溝布設等の改良工事を計画的に進めていただきたい。</p>	担当課回答	<p>林道改良も開設同様に今後も引き続き、森林整備・施業において効果的かつ効率的な事業実施の実現に向け、計画的に整備していく必要があると考えております。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有 無	※全て補助事業により実施するので、国の方針によっては実施年度において変更が生じる場合があります。				
				23年度以降	有 無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている		森林政策課	C	20						
2-2-1-3 林業基盤の整備を進めます		シート頁	市民協働指数	21	75100	0	38700	34100	78	2222
2-2-1-3-3 林道の舗装		81	②行政主導	22	73000	0	37300	33500	0	2200
事務事業名 「林道舗装」事業		20年度評価	A	23	73000	0	37300	33500	0	2,200

意見番号 59	市民委員会 委員意見 森野委員	林道が改良されただけでは、豪雨等によって、ひどく荒れてしまう。改良された林道は、舗装が急務である。	担当課 回答	林道舗装も改良と並行して今後も引き続き、森林整備・施業において効果的かつ効率的な事業実施の実現に向け、計画的に整備していく必要があると考えております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	※全て補助事業により実施するので、国の方針によっては実施年度において変更が生じる場合があります。				
				23年度以降	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている		森林政策課		20						
2-2-1-3 林業基盤の整備を進めます		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
		79・80・81		22	0	0	0	0	0	
事務事業名 林業基盤の整備を進めます		20年度評価		23	0	0	0	0	0	

意見番号 60	市民委員会 委員意見 加藤委員	「(施策名)1 森林の保全・整備を進めます」とする70頁～74頁、291頁起債の事業を円滑に進めるには、森林所有者、事業従事者が容易に現地に行けることが要件と思います。そのためには、3の林業基盤整備が重要で優先度を上げるよう望みます。	担当課 回答	林道の基盤整備は、森林整備・施業を進めていく上で必要不可欠な施設です。今後も引き続き、森林整備・施業において効果的かつ効率的な事業実施の実現に向け、林道の基盤整備が着実に進むよう計画的に進めていく必要があると考えております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	※全て補助事業により実施するので、国の方針によっては実施年度において変更が生じる場合があります。				
				23年度以降	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある農業が営まれている		農業振興課	A1B	20						
重	2-2-2-1 農業生産物の消費拡大を進めます	シート頁	市民協働指数	21	3900	0	0	0	0	3900
	2-2-2-1-1 地産地消の推進	83	④市民主導	22	3900	0	0	0	0	3900
事務事業名 (2) つくで祭り開催事業		20年度評価	B	23	3900	0	0	0	0	3,900

意見 番号 61	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	イベントとして地産地消事業との結びつきが明確でないため2-2-2-1-1-(3)の地産地消イベント支援事業と同じにしたらどうでしょうか。	担当 課 回 答	2-2-2-1-(3)事業は、主に食育関係の事業であり、このつくで祭り開催事業とは違うため、同じにすることはできないと思われます。 このつくで祭り開催は、都市住民との交流や特産品の販売等を行うことにより、作手地区をPRし、地元住民の活力と発展、地産地消の推進、特産品の消費拡大を図ることを目的としています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある農業が営まれている		農業振興課	A1A	20						
重	2-2-2-1 農業生産物の消費拡大を進めます	シート頁	市民協働指数	21	600	0	0	0	0	600
	2-2-2-1-3 食育の推進	86	③双方対等	22	2,000	0	0	0	0	2,000
事務事業名 (1) 食育推進事業		20年度評価	A	23	2,000	0	0	0	0	2,000

意見 番号 62	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	食育推進大会(200万円)はどのようなもの？	担当 課 回 答	現在、詳細をつめている段階ですが、担当課案では6月(食育月間)に講演会とブース展示(市内の食に関わる団体や個人)を行い、情報交換やPRに図ることを計画しています。 (予算:50万~100万程度の予定となるみこみです)						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無	事業費の見直し				
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	A2B	20						
	2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
	2-2-2-2-1 鳥獣害への対策	87・88	③双方対等	22	0	0	0	0	0	
事務事業名		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	

意見番号 63	市民委員会 委員意見 森田委員	対策強化は、収穫量の減少を防ぐだけでなく、農家の耕作意欲を高める効果を期待できることから、重要課題として取り組んでほしい。	担当課 回答	農業振興課でも、この問題は重要課題として対策を図っているところです。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	A2B	20						
	2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	8454	0	3707	0	0	4747
	2-2-2-2-1 鳥獣害への対策	88	③双方対等	22	9504	0	3707	0	0	5797
事務事業名 (2) 捕獲委託・防護柵補助事業		20年度評価	A	23	9504	0	3707	0	0	5,797

意見番号 64	市民委員会 委員意見 加藤委員	委託補助事業にかかる実績は如何ほどでしょうか？ 猟友会会員による駆除効果はそれなりにあると思いますが、真に鳥獣駆除の認識を持って対処してもらえるよう猟友会に対し要望・啓蒙も必要と思います。 防護柵設置費用補助に重点を置いて事業を進めるよう望みます。個々での設置の他に、地域全体に防護柵設置をする場合を対象とする補助制度も考えていただきたい。(既に実施している場合は、不認識をご容赦ください。)	担当課 回答	平成20年度実績はサル57頭、イノシシ253頭、シカ107頭、ハクビシン47頭、カラス287羽であり、猟友会の駆除効果は大きいと考えます。また、鳥獣苦情に対して捕獲や見回りなどを行っていただいています。 防護柵の補助につきましては、昨年程度の予算要求を行いたいと考えております。また、一団地を囲う防護柵の設置補助につきましては、地元負担がありますが国等の補助もありますので活用ください。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	A2B	20						
	2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	8454	0	3707	0	0	4747
	2-2-2-2-1 鳥獣害への対策	88	③双方対等	22	9504	0	3707	0	0	5797
事務事業名 (2) 捕獲委託・防護柵補助事業		20年度評価	A	23	9504	0	3707	0	0	5,797

意見番号 65	市民委員会 委員意見 森野委員	捕獲委託と防護柵補助だけで、あとは自衛のための指導(回覧等)のみである。 新城市独自の研究を進められたい。何年ごしの課題であり、農地を持っている者の切実な願いである。	担当課 回答	鳥獣被害防止の基本は捕獲と防除と考えます。あと、農地周辺を餌場としないことです。正しい防除方法を行うことは防止の第一歩です。そのための情報提供を今後も行ってまいりたいと考えます。 新城・設楽鳥獣害対策協議会のご協力を得まして、緩衝帯の設置や防護柵の横張りなど新城にあった防除方法を実験していますので、結果が出ましたら回覧等でご報告いたします。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	A2B	20						
	2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	3400	0	800	0	0	2600
	2-2-2-2-3 農業後継者の育成	89	③双方対等	22	3400	0	800	0	0	2600
事務事業名 (1) 担い手育成事業		20年度評価	A	23	3400	0	800	0	0	2,600

意見番号 66	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	事業的に不可欠かもしれないが、550万円の内訳を明示してください。(事業内容に対し、比較的に事業費が高いため、事業内容に不足があるのでは?)	担当課 回答	意見内容が水田農業構造改革対策推進事業の5,500千円だと思われるので以下のように回答いたします。 非常勤特別職報酬 3,070千円(生産組合長) 非常勤特別職費用弁償 200千円(生産組合長) 新加工用米安定供給推進補助金 2,100千円						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	A2B	20						
2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	3400	0	800	0	0	2600
2-2-2-2-3 農業後継者の育成	90	③双方対等	22	3400	0	800	0	0	2600
事務事業名 (1) 担い手育成事業	20年度評価	A	23	3400	0	800	0	0	2,600

意見番号 67	市民委員会 委員意見 森野委員	小規模農家ではあるが、後継者問題は深刻である。 戸別調査をして、その打解策を考え合いたい。 ※戸別調査と個人情報保護法の関連？	担当課 回答	農業経営として考える場合、収益が低く、投資額の回収すらままならない大多数の小規模農家において、その農家ごとに後継者を確保することは容易ではありません。このため、農地の荒廃を防ぎ利用・保全をするため、利用条件の良い農地については、規模拡大を目指す担い手農家への集約を推進する一方、今後の地域農業の在り方を集落単位で計画的に考える取組みに対する支援を強化しています。 戸別調査については、独自のものは考えていません。本年度、5年に1度の農林業センサスを実施しますので、ここから抽出されるデータ等を打開策に資することとしたいと考えております。					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
				23年度以降	有・無				

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)					
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	農業振興課	B	20						
2-2-2-2 農業生産活動を応援します	シート頁	市民協働指数	21	5418	0	200	0	0	5218
2-2-2-2-5 農地・水・環境保全向上対策	92	②行政主導	22	5418	0	200	0	0	5218
事務事業名 農村環境向上対策事業	20年度評価	A	23	5418	0	200	0	0	5,218

意見番号 68	市民委員会 委員意見 森野委員	生態系保全活動として、「生物生息状況調査」が16地区で実施されているようであるが、その内容の公表をお願いしたい。 また、その調査がよい内容であれば、新城市史「自然編」に活かすことができると考える。	担当課 回答	現在14地区でホテル、めだか等を関係地区にある子供会やPTAと合同で水生生物調査及び河川清掃を実施しました。地区によっては、調査内容を地区に回覧等で報告をしています。また、鳥原地区については地域の環境保全活動の一環として小学生に地域の水質状況に興味を持ってもらうために先生の指導を受けながら計画的に水質測定(パッケージテスト)を実施しています。					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
				23年度以降	有・無				

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある	20	農業振興課	B							
2-2-2-3 農業基盤の整備を進めます	21	シート頁	市民協働指数	215	0	0	0	0	215	
2-2-2-3-3 環境保全型農業の支援	22	106	②行政主導	215	0	0	0	0	215	
事務事業名 (1) 営農活動支援事業	23	20年度評価	A	215	0	0	0	0	215	

意見番号 71	市民委員会 委員意見 森田委員	<p>本事業は公平性に欠けるとの評価であるが、「環境首都」を目指すのであれば、もっと積極的に支援しても良いのではないかと。</p> <p>※(市民委員会での内容確認)</p> <p>・B判定となった「公平性」に欠ける理由が明確でない。「全市のでない」ことが理由だとすれば、中山間地を多く抱える本市にとって、農地を耕すことは全市的課題ではないかと。</p> <p>・エコファーマーの認定が60人(20年度に既に達成)で推移しているが、目標値を伸ばさなくて良いのか？</p>	担当課回答	<p>本事業は平成19年度からの事業で、国、県、市で農地・水・環境対策事業のうち営農に係る部分を支援するものです。ただし、途中からの参加ができないため現在1集落のみの参加となっています。この意味で「公平性に欠ける」との判断をしました。また、エコファーマーの認定目標につきましては、愛知県農業改良普及課とも協議しながら見直しをしたいと思いますと考えております。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-3 人が集い暮らす「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-3-1 快適に移動できる交通体系が整備されている	20	土木課	B							
2-3-1-2 道路網の整備を進めます	21	シート頁	市民協働指数	16500	0	14850	0	0	1650	
2-3-1-2-2 道路の舗装	22	132	①行政主体	20000	0	18000	0	0	2000	
事務事業名 (1) 道路舗装事業	23	20年度評価	A	20000	0	18000	0	0	2,000	

意見番号 72	市民委員会 委員意見 塩瀬委員	<p>土地改良事業で、まだ舗装されていない箇所が見受けられる。特に矢部地内においては舗装されていない箇所が猪に荒らされてデコボコ(路肩)である。何とかならないものかと感じている。</p> <p>※(市民委員会での内容確認)</p> <p>・農道の舗装は、土地改良事業後は市道に格上げされ舗装が施されると聞いているが、未舗装を市が施行する予定はあるのか？</p>	担当課回答	<p>農道舗装については、農業振興課が所管しており、総事業費のなかには、農道舗装については含まれておりません。また、土地改良事業により作られた道路を市道に格上げすることはありません。ただし、土地改良事業前に認定された市道があり、機能回復することが必要な区間に付いては市道として認定しております。今後、仮に土木課で対応することになりましても、生活道路を優先することとなり農道については優先度は低いものとなります。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
		23年度以降	有(無)							

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-3-1 快適に移動できる交通体系が整備されている		土木課	B	20						
2-3-1-2 道路網の整備を進めます		シート頁	市民協働指数	21	2000	0	0	0	0	2000
2-3-1-2-4 生活道路の整備		135	①行政主体	22	7000	0	0	0	0	7000
事務事業名 (2) 道路未登記物件調査委託事業		20年度評価	A	23	7000	0	0	0	0	7,000

意見 番号 73	市民委員会 委員意見 森野委員	膨大な未登記があることを市民は知らない。地主が泣き寝入りしているに他ならない。固定資産税を毎年支払い続けているのである。放置してはならない。思い切って、予算をつけて早急に解消していただきたい。	担当課 回答	現況道路になっている民地について、全てではありませんが非課税扱いとなっています。 課税扱いとなっているものがあれば、申し出ていただき道路と確認できれば非課税扱いすることも出来ます。 また、未登記解消には測量や分筆も伴い多額な予算と人員が必要となります。限られた範囲において進めておりますのでご理解をお願いします。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
				23年度以降	有(無)					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-3-1 快適に移動できる交通体系が整備されている		都市計画課	B	20						
2-3-1-2 道路網の整備を進めます		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-3-1-2-5 野田踏切の拡幅		137	①行政主体	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) 野田踏切拡幅事業		20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 74	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	歩道部は、踏み切りと民家にて分断されており、歩行者にとって大変危険な状態です。とくに、年寄りの電動カーなどは、通ることができません。 また、普通車通者にて南より北進すると、一旦停止しても野田城駅方面は電機のBOXによって確認できません。着手年度を早める必要があります。	担当課 回答	歩行者の安全確保のため踏切北側の歩道部分については、関係地権者との調整に継続的に取り組み、理解が得られ次第用地取得及び工事に着手していく。 また、踏切部分についても詳細設計、鉄道事業者との協議も終え早期改良を目指すところであるが、拡幅工事による踏切閉鎖(歩行者を除く)期間が約7か月間と長期になるため、その間の自動車迂回路の確保が不可欠である。迂回路としては主要地方道豊橋鳳来線が想定されるが、この路線は、現在八名井・一畷田地内において今水橋の架け替え事業に着手しているところであり、この事業の完了により迂回路が確保された後に、野田踏切拡幅事業に着手する予定である。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)	踏切北側の市道歩道設置事業と野田踏切拡幅事業とシートの分離を検討				
				23年度以降	有(無)	〔活動・成果指標〕欄の設定内容が異なるため)				

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-3 人が集い暮らす「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-3-2 快適に暮らせるまちになっている	20	都市計画課	A2A	0	0	0	0	0	0	
2-3-2-1 活気がある市街地をつくります	21	シート頁	市民協働指数	2622	0	0	0	0	2622	
2-3-2-1-1 中心市街地の活性化	22	138	②行政主導	22350	0	0	0	0	22350	
事務事業名 (1) 新城駅前整備事業	23	20年度評価	B	156350	62400	0	70700	0	23,250	

意見番号 75	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	商業圏が浜松方面、豊橋方面に行かなくては新城で買えないブランドがあり、減少している市の人口も少子高齢化しているわけで、駅を中心としたまちづくりは車社会にはなじまない。現在以上の発展は望まない。現象としてマルエイの閉店であり、商店街は151バイパスに移動し、清井田に通じる道路が完成すれば、もっと流れは変化する。栄町線道路は無用の長物となる。	担当課 回答	栄町線は、①歩車道が分離した安全な道の整備 ②公共交通の活用による若者からお年寄りまでが移動に容易なまちの構築 ③火災や大地震に対する防災機能の強化 ④過度に車に依存しない低炭素社会の構築 など今後の高齢化の促進に備えるとともに生活利便性の高いまちの構築に必要な事業であると考えている。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
		23年度以降	有(無)							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-3-2 快適に暮らせるまちになっている	20	水道課								
2-3-2-2 安全な水を届けます	21	シート頁	市民協働指数	0	0	0	0	0	0	
	22	143~151		0	0	0	0	0	0	
事務事業名	23	20年度評価		0	0	0	0	0	0	

意見番号 76	市民委員会 委員意見 夏目委員	この施策は全て「優先度B」だが、緊急性はないのか？ 平成28年度末までに上水道事業に統一することを目標に計画されているためか？ 老朽化した建物やポンプ等の状況を調査し、困らないように対応されたい。 ※(市民委員会での内容確認) ・平成28年度までに整備するために、B判定でも達成できる計画となっているか。	担当課 回答	優先度の判定は、平成21年7月付け優先度区分表により行っています。水道は市民生活にとって重要なことであり、平成28年度までに市内全ての水道事業を統合するため水道ビジョンや統合計画書を作成し、これに沿って簡易水道事業の統合改修を行うとともに、毎年度計画の見直しを行い修正をしながら事業を進めています。平成28年度までの統合において、ポンプや機器等の状況を常に把握し、断水等市民に影響がないよう努めております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

										シートNO	151
2 自立創造			担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る					年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-3-2 快適に暮らせるまちになっている			水道課	B	20						
2-3-2-2 安全な水を届けます			シート頁	市民協働指数	21	229495	0	0	0	87601	141894
2-3-2-2-4 簡易水道の施設管理			151	①行政主体	22	246452	0	0	0	226452	20000
事務事業名 (2) 簡易水道施設管理事業			20年度評価	A	23	246452	0	0	0	226452	20,000

意見 番号 77	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成21年度より平成22年度は、事業数は減少、総事業費は増加、増加の説明をお願いいたします。	担当課 回答	シートの指標の事業数は簡易水道特別会計で管理している簡易水道事業の認可数で、平成21年度認可事業数は、中央・北部・鳳来峡・東部・南部・西部・川合・大野・池場・作手の10事業ですが、平成22年度認可事業数は北部・西部が統合し北部になるため、1事業減って9事業です。 平成21年度に統合事業を行うことにより、平成22年度は水質改善のための活性炭ろ過機の活性炭の交換等、新たな施設管理費用の増加とポンプ等修繕等の増加を見込まれ、施設管理事業費が平成21年度より増加しています。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無						
		23年度以降	有・無								

										シートNO	165
2 自立創造			担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る					年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-3-2 快適に暮らせるまちになっている			都市計画課	A1B	20						
2-3-2-5 良質な住宅の整備を進めます			シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-3-2-5-1 市営住宅の建設・改築			165	①行政主体	22	29000	2517	0	0	26483	0
事務事業名 (2) 市営住宅維持管理事業			20年度評価		23	58000	5034	0	0	52966	0

意見 番号 78	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	上市場西住宅は、3棟ありますが、平成22年度の工事は2棟となっています。残りの1棟は？	担当課 回答	1棟については、雨漏り等による緊急性が高かったため平成18年度に同種工事を施工している。平成22年度事業では、残り2棟の屋上防水、外壁改修工事を実施する計画である。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有(無)						
		23年度以降	有(無)								

				シートNO		167				
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-3人が集い暮らす「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-3-2 快適に暮らせるまちになっている		都市計画課	A1A	20						
2-3-2-5 良質な住宅の整備を進めます		シート頁	市民協働指数	21	10277	2250	4125	0	0	3902
2-3-2-5-3 木造住宅耐震化の推進		167	①行政主体	22	10277	2250	4125	0	0	3902
事務事業名 (1) 木造個人住宅耐震診断事業		20年度評価	A	23	10277	2250	4125	0	0	3,902
意見 番号 79	新城 地域審議会 委員意見 山口委員	先月、静岡牧の原方面で大きな地震がありました。報道によりますと日頃の耐震補強が行き届いたようでした。新城市も補助制度がありますが、申し込み件数が少ないようです。PR不足、又申し込み手続きを知らない人が多いと思います。各行政区、組下まで知らせる方法をとったら？		担当 課 回 答	耐震改修は予想される大地震から生命を守るために必要な事業であるので、区長会等での事業説明とともに各個人に対しては広報紙、市HP、市政番組等を通してPRに努めている。耐震改修の前提となる耐震診断は、毎年重点地区を設定したローラー作戦により、徐々にではあるが診断件数の増加とともに市民意識も高まっている。耐震診断結果と同時に概算補強費用を示しているが、実際の耐震補強工事では、費用面で補助制度はあるものの自己負担の問題、生活面では当該家庭での今後の居住見通しの等々で工事着手を躊躇するケースも多く見られる。					
					見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
					22年度	有(無)				
				23年度以降	有(無)					

				シートNO		171				
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-1 歴史文化財が継承・活用されている		文化課	A2B	20						
2-4-1-1 歴史文化財を継承します		シート頁	市民協働指数	21	793	0	0	0	0	793
2-4-1-1-1 歴史文化財の継承		171	③双方対等	22	793	0	0	0	0	793
事務事業名 (1) 指定文化財保存事業		20年度評価	B	23	793	0	0	0	0	793
意見 番号 80	市民委員会 委員意見 塩瀬委員	歴史文化財の継承とあるが、しばらく開催されていない奥三河芸能祭のようなものを新城市独自で開催して、「新城には、こんなにすばらしい芸能がある事を内外に知ってもらう必要があると思います。各地域に残っている伝統文化を周り番で行い、息の長い催し物にならん事を節に願うものです。		担当 課 回 答	指定無形民俗文化財の保存団体の多くが後継者不足を大きな課題として捉えています。市では、後継者育成保存伝承活動等に対し、指定文化財保存事業で補助を行っています。一方、伝統芸能を多く方に知っていただくため、ホームページへの掲載、「新城の伝統民俗芸能」の作成発行や県主催の民俗芸能大会への出演希望をとるなど機会の創出に努めています。ご意見のありました催物については、現段階では、計画していません。団体によっては、地域で行う行事であり、舞台等への出演を断られるものもあり、舞台で見るとは、地域でその時期に本物を見ていただくことも未永く伝承されるものだと思います。					
					見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
					22年度	有・無				
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-1 地域の文化と人育む「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-4-2 子どもが健やかに育っている	20	庶務課	A1A							
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます	21	シート頁	市民協働指数	21	146,145	21,447	0	29,700	0	94,998
2-4-2-1-1 学校設備施設の整備	22	180	④行政主体	22	543,319	114,468	0	0	0	428,851
事務事業名 (2) 学校施設の耐震化	23	20年度評価	A	23	65,556	26,250	0	0	0	39,306

意見番号 80-1	作手 地域審議会 委員意見	学校の耐震を実施するのは分かるが、なぜ他の学校は実施されないのか。統合が見込まれているので、実施されないのかなどと想像を働かせるしかない。耐震実施済み及び未実施の学校などを明確にし、順番により実施するというものが資料に見えない。せめて概略のコメント又総合的なコメントが必要ではないか。(すべてに言えることである。) ※耐震基準を満たしている学校と満たしていない学校の一覧及び年度別学校耐震工事計画は？	担当課 回答	耐震工事实施済及び未実施の学校については、昨年度より市のホームページで公表しておりますのでご覧ください。 耐震工事の順番については、基本的に体育館より校舎を優先し、耐震診断の結果明らかとなったIs値(構造耐震指標)の低い順に耐震工事を進めていきます。 ただし、小学校再配置指針により対象となる小学校にあっては、例外的に学校統合を視野に入れながら耐震化計画を進めていきます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
23年度以降	有(無)									

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-4-2 子どもが健やかに育っている	20	庶務課	A1A							
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます	21	シート頁	市民協働指数	21	54485	0	0	0	0	54485
2-4-2-1-1 学校設備施設の整備	22	181	①行政主体	22	23109	0	0	0	0	23109
事務事業名 (3) 山吉田地区新設小学校建設事業	23	20年度評価		23	880000	248200	0	0	0	631,800

意見番号 81	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	対案をしめしてください。また移転後の小学校の跡地は？	担当課 回答	今回の新設小学校については、現在の山吉田小学校と黄柳野小学校の学校統合という地元合意が得られた上での新設小学校の建設事業です。 また、移転後の小学校の跡地については、現在の山吉田小学校の場所が急傾斜地崩壊危険箇所になっており、校舎自体も昭和35年5月建築で構造上危険な状態にある建物であることから、全学校建物を解体撤去後、更地にする予定です。黄柳野小学校にあっては、平成2年2月建築で比較的新しい建物なので、今後地元住民と協議しながらよりよい施設への転用を図っていきたいと考えております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
23年度以降	有(無)									

				シートNO 182						
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-2 子どもが健やかに育っている		学校教育課	A2B	20						
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	7710	0	0	0	0	7710
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実		182	①行政主体	22	8877	0	0	0	0	8877
事務事業名 (1) 英語講師派遣事業		20年度評価	A	23	8877	0	0	0	0	8,877

意見番号 82	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成21年度は5,800円@1時間、平成22年度は6,500円@1時間、平成23年度は5,600円@1時間、違いを教えてください。	担当課 回答	・平成22年度、平成23年度は、見積もりを @5,565円×1,595時間=8,877千円 として行っている。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

				シートNO 185						
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-2 子どもが健やかに育っている		学校教育課	A2B	20						
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	4055	0	0	0	0	4055
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実		185	①行政主体	22	5897	0	0	0	0	5897
事務事業名 (4) 教師力向上事業		20年度評価	A	23	5897	0	0	0	0	5,897

意見番号 83	市民委員会 委員意見 森野委員	1、教師の力量として、生活指導というか、学級経営の力が授業を支える力として必要である。 2、いじめに端を発する学級崩壊が見受けられる。一人一人の子どもに目を向けた指導が望まれる。 3、その上で、保護者、地域の教育力の向上も目指したいものである。	担当課 回答	・「教師力向上事業」で取り組む研修会等の内容で扱っています。 ・本事業としては、保護者・地域を対象とはしておりませんが、研修成果の波及は期待しております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-2 子どもが健やかに育っている		学校教育課	A2B	20						
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	2490	0	0	0	0	2490
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実		186	①行政主体	22	2490	0	0	0	0	2490
事務事業名 (5) 中学生海外派遣事業		20年度評価	A	23	2490	0	0	0	0	2,490

意見番号 84	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成22年度が平成21年度より事業費が高い理由を教えてください。	担当課 回答	・上記のとおり、総事業費は同額で計画している。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-1 子どもが健やかに育っている		学校教育課	A2B	20	0	0	0	0	0	0
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	5070	0	0	0	0	5070
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実		188	①行政主体	22	5325	0	0	0	0	5325
事務事業名 (7) 学校図書館購入事業		20年度評価	A	23	5325	0	0	0	0	5,325

意見番号 85	鳳来 地域審議会 委員意見 梅田委員	小中学校の図書館を充実させるためには、図書を 購入することも大切ですが、それだけでなく、担任や 教科指導教員以外の専門の学校図書館司書教諭を 各校に配置し、図書館の整備や読書指導などを行う ことが理想です。	担当課 回答	・本事業においては、図書購入の費用を計上しております。 ・学校図書館司書教諭の配置等による充実については、教員定数の増加など 関係機関へ働きかけてまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-4-2 子どもが健やかに育っている	学校教育課	A2B	20							
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます	シート頁	市民協働指数	21	770	0	0	0	0	0	770
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実	189	①行政主体	22	870	0	0	0	0	0	870
事務事業名 (8) 子どもチャレンジ事業	20年度評価	A	23	870	0	0	0	0	0	870

意見 番号 86	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成22年度が平成21年度より事業費が高い理由を教えてください。	担当課 回答	・チャレンジ事業への参加校, 参加者の増加を見込み運営費(バス輸送費等)を増額している。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

2 自立創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
2-4-2 子どもが健やかに育っている	学校教育課	A2B	20							
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0	
2-4-2-1-2 学校教育カリキュラムの充実	190	③双方対等	22	7608	0	0	0	0	0	7608
事務事業名 (9) 学校体育振興事業	20年度評価		23	0	0	0	0	0	0	

意見 番号 87	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	平成22年度が平成21年度より事業費が高い理由を教えてください。	担当課 回答	・児童生徒を各種大会等に派遣するための必要経費(輸送バス代, 電車代等)を増額している。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

				シートNO 191						
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る										
2-4-2 子どもが健やかに育っている		学校教育課	A2A	20						
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	2881	0	0	0	0	2881
2-4-2-1-3 学校生活への応答指導		191	③双方対等	22	8617	0	0	0	0	8617
事務事業名 (1) あすなろ教室(不登校対策)開設事業		20年度評価	A	23	8617	0	0	0	0	8617

意見番号 88	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	「あすなろ教室」の定員は？ 不登校児童・生徒を全員受け入れるキャパはあるのか？ キャパがなく教室に通える児童・生徒が25%しかないのならキャパを広げる必要がある。	担当課 回答	<ul style="list-style-type: none"> ・定員は特に設けていない。 ・不登校児童・生徒は、個々に問題を抱えており個別対応、個別指導が必要であり、通室だけでなく、巡回指導でも対応している。 ・指導時間、指導員の増加から事業を拡大していく。 						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
		23年度以降	有・無							

				シートNO 194						
2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る										
2-4-2 子どもが健やかに育っている		庶務課	A2B	20						
2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-4-2-1-4 学校給食の地産地消の推進		194	②行政主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) 学校教職の地産地消推進事業		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 89	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	H22年度、H23年度は月2回2品目以上という目標であるが、もっと増やせないか(回数、品目とも)	担当課 回答	<p>米の地産地消率については100%で、野菜については、作手地区の全学校と鳳来地区の一部の学校にあっては、ほぼ毎日地場産物を学校給食に使っております。市内の規模が異なる学校によっても地区によっても供給面で極端にばらつきがあり、市内において比較的大きな学校への安定供給が大きな課題となっているものの、供給側である生産者の生産能力等諸事情も無視できない状況にあります。</p> <p>したがって、既に目標を軽くクリアしている学校もあり、月2回2品目以上というのは最低限の目標と考えております。</p>						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
		23年度以降	有(無)							

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-2 子どもが健やかに育っている		生涯学習課	B	20	0	0	0	0	0	0
2-4-2-2 地域ぐるみで青少年の健全育成を進めます		シート頁	市民協働指数	21	1793	0	0	0	0	1793
2-4-2-2-1 青少年の健全育成の推進		196	③双方対等	22	1793	0	0	0	0	1793
事務事業名 (2) 成人式開催事業		20年度評価	B	23	1793	0	0	0	0	1,793

意見 番号 90	鳳来 地域審議会 委員意見 菅沼委員	市全体で一緒に行うようになったが、地区毎のときと比べて予算的には節約できていると思うが、参加者の都合や満足度はどうか？ 記念品等、どのような物が配られているのか？必要なのか？	担当課 回答	成人式は、平成20年(平成19年度)から1会場で開催しております。式典につきましては、6中学校区の新成人代表による実行委員会を立ち上げ、特色を活かした式典内容にするため、行政と新成人が協働した体制で取り組んでおります。総合司会を始めとする式典は新成人が担当し、アトラクションなどにつきましても新成人の意見により実施しております。成人式出席率は、1会場開催とする前の平成19年は86.93%、1会場開催とした平成20年は86.66%、平成21年は88.62%となっております。 記念品につきましては、実行委員会で新成人からの意見により選定しております。平成20年はネーム付きボールペン、平成21年はマイ箸を贈っております。成人式記念品は、市民を代表して市が新成人に贈るお祝いの品として必要なものと考えております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
				23年度以降	有(無)					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-3 いつでも学べる場が用意され、文化・スポーツ活動が盛んに行われている		スポーツ課	A2B	20						
2-4-3-2 市民スポーツ活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	2650	0	0	0	1060	1590
2-4-3-2-2 スポーツ大会・イベントの開催		204	③双方対等	22	2450	0	0	0	1000	1450
事務事業名 (1) 市民スポーツ振興事業		20年度評価	A	23	2450	0	0	0	1000	1,450

意見 番号 91	市民委員会 委員意見 井上委員	体育協会を早くNPOで行うことができるようにする。 ※(市民委員会での内容確認) ・体育協会は行政から独立し、自立した運営をすべきではないか。	担当課 回答	本市の体育協会をNPOで行うことが必要なのか検討するよう問題提起をさせていただきます。 なお、協会事務局は既に行政から独立しており、自立した団体運営を行っております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-3 いつでも学べる場が用意され、文化・スポーツ活動が盛んに行われている		スポーツ課	A2B	20						
2-4-3-2 市民スポーツ活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	3500	0	0	0	2500	1000
2-4-3-2-4 新城マラソン大会の開催		206	③双方対等	22	3500	0	0	0	2500	1000
事務事業名 新城マラソン大会開催事業		20年度評価	A	23	3500	0	0	0	2500	1,000

意見番号 92	市民委員会 委員意見 井上委員	<p>体育協会を中心とするNPOへの移行を考える。 204頁、34頁に関連。</p> <p>※(市民委員会での内容確認) ・体育協会の自立と同じ趣旨。</p>	担当課 回答	91と同様						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4-3 いつでも学べる場が用意され、文化・スポーツ活動が盛んに行われている		スポーツ課	C	20						
2-4-3-2 市民スポーツ活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
2-4-3-2-5 総合体育館の整備		207	③双方対等	22	500	0	0	0	0	500
事務事業名 (1) 総合体育館計画策定事業		20年度評価		23	500	0	0	0	0	500

意見番号 93	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	<p>現状では急ぐ必要はないが、施設の規模はフットサルなどのできる規模とし、壁、窓格子などにも配慮をお願いいたします。</p>	担当課 回答	計画策定時に当該種目も含めて考えてまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る										
2-4-3 いつでも学べる場が用意され、文化・スポーツ活動が盛んに行われている		生涯学習課	B	20	0	0	0	0	0	0
2-4-3-3 生涯学習活動を応援します		シート頁	市民協働指数	21	9255	0	0	0	0	9255
2-4-3-3-1 公民館活動の推進		210	⑤市民主体	22	10150	0	0	0	0	10150
事務事業名 (1) 生涯学習支援事業		20年度評価	B	23	10150	0	0	0	0	10,150

意見番号 94	鳳来 地域審議会 委員意見 豊田委員	公民館分館活動もマンネリ化して来ており、市の補助金減で行きづまりつつある。少子高齢化の波には勝てないこともあるが、地域自治の中で解決の糸口を探る問題もある。	担当課 回答	公民館活動に係る生涯学習活動費補助金は、地域の活性化と地域住民の交流などを図るため、それぞれの地域の特性を活かした活動に対して、その経費の一部を補助(支援)するものであります。合併当初からこの補助金の額は、各地区で大きな差がありました。この補助基準を統一するため、激変の緩和措置を取りながら平成21年度まで進めてきたところであります。平成22年度からは、全市で統一した基準で補助をしてまいります。財政事情は、地域、市いずれにおいても厳しい状況にあります。御理解いただきますようお願いいたします。							
				見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)							
				22年度	有・無						
				23年度以降	有・無						

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
		森林政策課		20						
		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
		70~、290~		22	0	0	0	0	0	
事務事業名 森林保存など		20年度評価		23	0	0	0	0	0	

意見番号 95	市民委員会 委員意見 吉田委員	林業が健全であるには、収入が見合わなければならない。受け皿として、市の係る公共工事は木材を使うことを原則とし、市のテーマとして「木の温もりの見えるまち」を打ち出していき、市民にも協力を呼びかける。ひいては、観光の1つのポイントとして活性化へ結びつけたいが如何か。	担当課 回答	愛知県では、現在『あいち木づかいプラン』という県産材の利用促進に向けた取り組みが進められています。国、県の補助事業を実施する際に県産材を使用しています。今後もそういった事業の中で、地元木材が使用されていることのPRを進めていきます。 また、市民が県産材を使用し住居等を建築した場合の市からの補助等は現在ありませんが、機会をとらえ地元木材の優良さを広く周知し、市民に地元木材を使っただけのように検討していきます。その中で、観光にもつながるような方策もあわせて検討していきます。							
				見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)							
				22年度	有・無						
		23年度以降	有・無								

2 自立創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
		森林政策課		20						
		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
		51～		22	0	0	0	0	0	
事務事業名 観光戦略		20年度評価		23	0	0	0	0	0	

意見番号 96	市民委員会 委員意見 吉田委員	森林は市の大きな資源である。 これを活かすには、林業関連へ波及することになる。 1つの提案として「木の温もりの見えるまち」をキャッチフレーズにしたPRができるように、関連部門、市民へ働きかける動きは如何なものか。	担当課 回答	「木の温もりの見えるまち」として、多くの市民の目に触れる公共的施設に、県産材を活用し木造化したり、内装の木質化を図るなどPR効果の高い施設に県産材利用し、普及啓発に取り組んでいきます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-1 健康に暮らせる「山の湊」を創る				20						
3-1-1 地域の医療体制が整っている		作手診療所	B	20						
3-1-1-1 病院、診療所の体制を整えます		シート頁	市民協働指数	21	567	0	0	0	0	567
3-1-1-1-1 診療・救急医療体制の整備		214	①行政主体	22	2000	660	660	0	0	680
事務事業名 (2) 施設整備事業(作手診療所)		20年度評価	A	23	2000	660	660	0	0	680

意見番号 97	市民委員会 委員意見 夏目委員	日常生活において、気軽に受診できる診療所としての役割を果たす作手地区の重要な医療機関だと思う。 高齢者にとっても頼りになる「町のお医者さん」のような機関になるよう、優先度を上げて施設整備をされたい。 ※(市民委員会での内容確認) ・医師が2名から1名に減員され、往診、夜間救急など従来の診療体制からの後退は無いのか。地理的な配慮はされているか。	担当課 回答	設備更新による近代化は作手地区の市民の健康の維持向上について有効な事業と考えています。医師の要望等に沿いながら計画的に整備していきます。 ※往診等の在宅医療について、充実を図っています。 ※夜間等については医師の負担軽減のため対応できない場合がありますが、看護師が転送電話による待機体制をとっており、急患に対応しています。 ※医師研修日の水曜日は、市民病院から午前中医師の派遣を受けています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無		医師の要望、機器の摩耗等を考慮して整備するため、機器の変更はあります。			
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-1 健康に暮らせる「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
3-1-1 地域の医療体制が整っている		経営管理課	A1A	20						
3-1-1-1 病院、診療所の体制を整えます		シート頁	市民協働指数	21	1036523	0	0	0	0	1036523
3-1-1-1-1 診療・救急医療体制の整備		215	①行政主体	22	984922	0	0	0	0	984922
事務事業名 (3) 経営健全化事業(市民病院)		20年度評価	A	23	858892	0	0	0	0	858,892

意見番号 98	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	現在、未使用の看護師寮を東栄、設楽より通学の新城東、新城、大谷短大の女子生徒に有料で貸す。	担当課 回答	経営の健全化を進める中で、遊休施設の活用は重要な課題であります。看護師宿舎につきましては、現在利用者がいませんが、平成22年度採用予定の看護師の意向を考慮しながら、ご指摘の活用方法も踏まえて検討してまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-1 健康に暮らせる「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
3-1-2 みんなが健康づくりに努めている		健康課	B	20	0	0	0	0	0	0
3-1-2-1 予防医療を進めます		シート頁	市民協働指数	21	184	0	120	0	0	64
3-1-2-1-2 機能訓練、訪問指導の実施		227		22	184	0	120	0	0	64
事務事業名 (1) 機能訓練、訪問指導事業		20年度評価	B	23	184	0	120	0	0	64

意見番号 99	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	人材の育成を含め、訪問指導の回数の増加を望む。 人材の育成にもっと多くの予算をさいてもよいのでは？	担当課 回答	機能訓練対象者は、脳血管片麻痺等の疾患があるため地域に近い場所(3保健センター)で、保健師・機能訓練指導員・作業療法士が中心に事業を展開し、機能訓練や交流会などを実施しています。 訪問活動は、健康教育、健康相談などを通して、訪問が必要であると判断されるケース(生活習慣病療養者等)について、市の福祉課、包括支援センター、保健所等各関係機関と連携しながら、独居、高齢者、認知症等の方に実施しています。ケースが増せば、関係機関と連携により対応していきます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

											シートNO	229
3 安全・安心の暮らし創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-1 健康に暮らせる「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-1-2 みんなが健康づくりに努めている				病院総務課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
3-1-2-2 健康づくりを応援します				シート頁	市民協働指数	21	35	0	0	0	0	35
3-1-2-2-1 出前健康講座の開設				229	②行政主導	22	35	0	0	0	0	35
事務事業名 (1) 出前健康講座開設事業				20年度評価	B	23	35	0	0	0	0	35

意見番号 100	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	ケーブルテレビ、防災無線、広報の充実により、縮小してもよいと思います。	担当課 回答	出前健康講座は、各種団体からの要望を受け、院長をはじめ、医師や看護師などが各地域に出向き、健康・医療への理解を深めていただいています。加えて、ケーブルテレビや防災無線などによる情報発信とは違い、血圧及び体脂肪率の測定を含めた健康相談や市民病院の現状に対する質問に答えるなど地域の皆さんと直接交流するなかで市民病院に対する信頼関係を築くことも大切であると考えています。こうしたことから、今後も住民からの要望に応えていきたいと考えています。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有(無)							
		23年度以降	有(無)									

											シートNO	235
3 安全・安心の暮らし創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている				健康課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
重 3-2-1-1 子どもを生む環境を整えます				シート頁	市民協働指数	21	162	0	0	0	0	162
3-2-1-1-2 乳児家庭への訪問				235		22	227	0	0	0	0	227
事務事業名 (1) こんにちは赤ちゃん事業				20年度評価	A	23	227	0	0	0	0	227

意見番号 101	鳳来 地域審議会 委員意見 今井委員	少子化で、出産する病院も無い地域で苦勞して出産していただいたのだから、是非、お祝いして、悩み事や困っていることがないか、お母さんの気持ちを聞いてあげて欲しいと思います。出産後は、出かけることもできないので訪問して来ていただけるのは赤ちゃんにとっても良い事業だと思えます。	担当課 回答	20年度において健康課が実施した研修を終了されたボランティアグループにお願いし、赤ちゃん訪問を実施しています。訪問時には、赤ちゃんが誕生した家庭をお祝いするとともに様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行っています。保健師だけでなく、市民の方に関わっていただくことで、地域が赤ちゃんを見守っていることを母親に認識してもらうことも大きな目的です。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)						
				22年度	有・無							
		23年度以降	有・無									

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	健康課	A1A	20	0	0	0	0	0	0
	重 3-2-1-1 子どもを生む環境を整えます	シート頁	市民協働指数	21	1000	0	500	0	0	500
	3-2-1-1-3 不妊治療への助成	236		22	1250	0	625	0	0	625
事務事業名 (1) 不妊治療助成事業		20年度評価	A	23	1250	0	625	0	0	625
意見番号 102	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	不妊治療は、一回に30万～40万の費用がかかると聞きます。 一回で妊娠すればよいが、失敗もかなりあり、若い夫婦にとってかなりの負担である。助成の限度額が5万円であるが、増額は無理か？	担当課 回答	助成額は本人負担額の2分の1以内で、5万円を限度とすることから、10万円以上の本人負担を超える方には、負担額が大きくなっていることは承知しております。ただし、この制度は、2か年有効ですので、お一人10万円の限度額までは助成することができます。 20年度においては、16人の方が制度を利用され、本人負担額が、多い方で17万円、少ない方で4千円となっています。また、16人のうち8人の方が妊娠されたことは、大変喜ばしいことです。 現時点では、増額する予定はまりませんが、現在、国において適応症と効果が明らかな治療には、医療保険の適用を検討するとの情報が入っています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	児童課	A1B	20						
	3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	シート頁	市民協働指数	21	28084	0	0	0	9927	18157
	3-2-1-3-1 延長保育、一時保育等の実施	241	①行政主体	22	32859	0	0	0	11210	21649
事務事業名 (1) 延長保育、一時保育等の実施事業		20年度評価	A	23	32859	0	0	0	11210	21,649
意見番号 103	市民委員会 委員意見 夏目委員	子育て支援に欠かせないもののひとつである保育の充実を最優先にされたい。 今後の出生率増加を推進するためにも、民間の保育施設が乏しい市において、保育機関を充実させることは増加推進の大きな要因となると考える。 ※(市民委員会での内容確認) ・待機児童はいないというが、延長保育・一時保育などのサービスにおいても利用できる体制となっているか。	担当課 回答	平成17年度合併以来、保育サービスについては旧三市町村の均衡に努めてきました。延長保育や一時保育実施園の増、また低年齢児(0、1歳児)受入実施園の増や第三子保育料の無料化等を実施してきました。あわせて、長篠保育園の改修工事、鳳来保育園の耐震改修工事などハード面の充実も図っています。 今後も利用者の需要に応えるよう努めていきたいと考えています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	児童課	A1B	20						
	3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	シート頁	市民協働指数	21	28084	0	0	0	9927	18157
	3-2-1-3-1 延長保育、一時保育等の実施	241	①行政主体	22	32859	0	0	0	11210	21649
事務事業名 (1) 延長保育、一時保育等の実施事業		20年度評価	A	23	32859	0	0	0	11210	21,649

意見番号 104	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	女性参画のためにも、優先度をAとし総事業費も増やす必要がある。	担当課 回答	女性のフルタイム労働の増加やパートタイム労働の広まりにより、それに応えるよう延長保育や一時保育等の保育サービスの拡充を実施してきたところです。 今後も利用者の需要に応えるよう努めていきたいと考えています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	児童課	A1B	20						
	3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	シート頁	市民協働指数	21	23648	0	4940	0	10122	8586
	3-2-1-3-3 学童保育の運営	243	①行政主体	22	26000	0	0	0	10400	15600
事務事業名 (1) 学童保育運営事業		20年度評価	B	23	27000	0	0	0	11360	15,640

意見番号 105	市民委員会 委員意見 夏目委員	具体的にどのような見直しになりそうでしょうか？ 内容によっては、予算は必要でしょうか？	担当課 回答	平成19年度より「放課後子どもプラン」がスタートしました。「放課後子どもプラン」は、文部科学省の「放課後こども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携した事業であります。この事業は、教育委員会が主導で行なうもので学童保育事業も含まれるため、教育委員会と今後の放課後児童対策について予算も含め協議を進めます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心のくらし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	児童課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	シート頁	市民協働指数	21	23648	0	4940	0	10122	8586
	3-2-1-3-3 学童保育の運営	243	①行政主体	22	26000	0	0	0	10400	15600
事務事業名 (1) 学童保育運営事業		20年度評価	B	23	27000	0	0	0	11360	15,640

意見番号 106	鳳来 地域審議会 委員意見 菅沼委員	学童保育だけでなく、乳児、未満児、すべてが希望すればすぐに預かってもらえる体制になるのか？ 延長を考えるのなら、休日の受入れも必要ではないか？ 休日が仕事という親も増えていると思いますし、休日、子どもを預かってもらえれば、働くことができるということもあると思う。その辺りはどのように考えているのか？	担当課回答	学童保育事業(児童クラブ)につきましては、小学校低学年を対象として学校就業後から午後6時まで預かる事業であります。長期休業日(夏休み等)には、午前8時30分から午後6時まで児童クラブを実施しております。なお、乳児、未満児は対象ではありません。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心のくらし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている	児童課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	シート頁	市民協働指数	21	23648	0	4940	0	10122	8586
	3-2-1-3-3 学童保育の運営	243	①行政主体	22	26000	0	0	0	10400	15600
事務事業名 (1) 学童保育運営事業		20年度評価	B	23	27000	0	0	0	11360	15,640

意見番号 107	鳳来 地域審議会 委員意見 梅田委員	鳳来中部小の学童の部屋を外から見て、小学校の敷地内にあるのは良いが、あまりにも狭く、その場しのぎのように感じます。もう少し広くて安心できる場所を提供してください。	担当課回答	鳳来中部小の児童クラブにつきましては、開設にあたり学校当局に空き教室の利用をお願いしましたが。空き教室がないためクラブハウスを利用して児童クラブを開設した経緯があり、スペースの面ではご意見のとおり狭いのが現状です。なお、利用人員が多くなる夏休み期間中は「広い図工室」を利用しております。引き続き、改善策を模索し、学校の空き教室等の利用も考えております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-2 だれもが生きがいを持って社会に参加している	福祉課	A1B	20	0	0	0	0	0	0
	重 3-2-2-1 地域内福祉・相互扶助活動を進めます	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
	3-2-2-1-2 NPO等による自家用車有償運送の実施	246	④市民主導	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (1) NPO等による自家用車有償運送事業		20年度評価	A	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 108	新城 地域審議会 委員意見 竹内委員	今後も高齢化が進み、本市のような山間地が多い地域で住民の「足」の確保は不可欠である。NPOの支援はもとより、市としても取り組む必要がある。今回の国政選挙で投票所が少なくなり「足」がなくて投票所に行けなかった人もいたのではないかと。	担当課 回答	新都市では、市内全域のバス路線網の構築を目指し、平成20年度に公共交通連携計画を策定し、この計画に基づく実証運行を進めています。高齢者の「足」の確保は公共バスのみでなく、NPOによる有償運送やタクシーなどと連携しつつ、総合的に利便性の向上を目指します。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	3-2-2 だれもが生きがいを持って社会に参加している	介護高齢課	B	20						
	3-2-2-2 高齢者の生きがい対策を進めます	シート頁	市民協働指数	21	97500	32175	15600	0	34125	15600
	3-2-2-2-3 介護の予防・包括的支援の実施	250	②行政主導	22	98200	32505	15760	0	34175	15760
事務事業名 (1) 介護予防・包括的支援の実施事業		20年度評価	A	23	99500	32835	15920	0	34825	15,920

意見番号 109	新城 地域審議会 委員意見 鈴木委員	248から251ページまでセットで、高齢者が全人口の4分の1を超える現在社会において、費用対効果がすぐに見いだせない分野かもしれないが、最重要施策として位置づける必要があると思う。予防介護から介護まで、行政だけでなく社会全般が参加できる仕組みづくりと計画づくりが必要。高齢者の消費者トラブルの回避と後見制度の普及のためのしくみづくりを考慮してほしい。 一人暮らしの高齢者、身辺介護、財産管理のサポートの必要な高齢者が多く、未保護のまま放置されているのが現状である。	担当課 回答	本市においては、市内に6ヶ所の在宅介護支援センターがあり、高齢者の総合相談に応じています。また、独居老人の安否確認も行なっています。また、はぐるまの会による、独居老人の友愛訪問を実施し、安否確認を行っており、市からも支援を行なっています。成年後見制度の普及については、地域包括支援センターにおいて、相談業務を行っており、今後も制度の周知を行なってまいります。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心のくらし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-2-2 だれもが生きがいを持って社会に参加している		福祉課	A1B	20						
3-2-2-3 障害者の自立を支援します		シート頁	市民協働指数	21	20	0	0	0	0	20
3-2-2-3-1 障害福祉計画の策定・推進		251	②行政主導	22	20	0	0	0	0	20
事務事業名 (1) 障害福祉計画策定・推進事業		20年度評価	A	23	2100	0	0	0	0	2,100

意見番号 110	市民委員会 委員意見 森野委員	「自立支援協議会で検討」だけでは中味が見えない。 果たして、その活動が障害者の福祉にどれだけ役立っているのか見えてこない。一步前へ進めるに施策は無いものか。	担当課 回答	地域自立支援協議会は、当事者、相談支援事業者(相談支援専門員)、福祉行政関係機関、福祉サービス提供事業所等が一同に集まり、個別支援会議等を通じて出た個別課題や、地域の課題を共有するとともに、解決にむけた方策を検討・協議し、それぞれの立場から提言・連携して問題解決を図り、相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に係るシステムづくりに関し、中核的な役割を果たす場となっております。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心のくらし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています		防災対策課		20	0	0	0	0	0	0
重 3-3-1-2 防災対策能力を強化します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
				22	0	0	0	0	0	0
事務事業名		20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見番号 111	鳳来 地域審議会 委員意見 今井委員	東海地震で火災が起きた場合には、消防署だけでは間に合わないと思うので、消化設備の充実と同時に取り扱い方が誰にでもわかるように説明書をつけて欲しいと思います。普段、家にいない女性でも使えるようにしていただきたいと思います。	担当課 回答	鳳来、作手地区には、消火栓の設置箇所に消火栓器具庫が配置されており、ホース等が収納されています。器具庫は、地区で保守管理されています。消火栓等の取り扱いについては、地区に自主防災訓練等で取り扱い説明、操作訓練等を行なっています。地区の自主防災訓練に、大勢の方の参加をいただき、有事の際に、行動できるようにしていただきたいと思っています。市としましても自主防災会への指導と協力を行っていきたくと思っています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

											シートNO	257
3 安全・安心の暮らし創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています				土木課	A1B	20						
3-3-1-1 地震・防災対策を進めます				シート頁	市民協働指数	21	80000	0	40000	0	0	40000
3-3-1-1-3 河川の改修				257	①行政主体	22	60000	0	30000	0	0	30000
事務事業名 (1) 河川改修事業				20年度評価	B	23	50000	0	25000	0	0	25,000
意見番号 112	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	第2東名の工事による想定外の災害、土砂流出などについての検討を行う必要がある。			担当課 回答	現地の状況を確認し土砂流出等が懸念される個所には、土砂流失防止さくの設置、のり面の保護等、土砂流出防止の施工について協議をし、必要と判断したところについては、NEXCO中日本に工事の施工をお願いしています。また、 新東名 から下流域への排水処理については調整池を設けて開発前の流量と同量の水を流すよう配慮されています。						
		見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)								
		22年度	有(無)									
		23年度以降	有(無)									

											シートNO	258
3 安全・安心の暮らし創造				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています				土木課	A1B	20						
3-3-1-1 地震・防災対策を進めます				シート頁	市民協働指数	21	8000	0	0	0	3000	5000
3-3-1-1-4 急傾斜地・地すべり対策				258	②行政主導	22	10000	0	0	0	3000	7000
事務事業名 (1) 急傾斜地・地すべり対策事業				20年度評価	A	23	10000	0	0	0	3000	7,000
意見番号 113	市民委員会 委員意見 加藤委員	市内には、山口県防府市の特別養護老人ホームの事例のような一瞬のうちに多くの生命、財産が失われる危険性のある急傾斜地崩壊や土石流による災害が発生する恐れのある地域に集落が点在しております。 権との連携を密にして事業の推進に精力的に取り組んでください。			担当課 回答	現在県において土砂災害の危険が予想される区域について調査を行い土砂災害危険区域等の指定を進めています。市では地域防災計画で避難体制の整備を図ると共に区域の皆さんには、日頃から斜面の状況には常に注意を払い普段と異なる状況に気付いた場合には直ちに安全な場所に避難するようお願いしています。 今後も県との連携を密にし、急傾斜地等の危険箇所についての調査及び急傾斜地崩壊対策事業等の事業実施に向け取り組んでまいります。						
		見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)								
		22年度	有(無)									
		23年度以降	有(無)									

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています		都市計画課	A1A	20						
3-3-1-1 地震・防災対策を進めます		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
3-3-1-1-5 木造住宅耐震化の推進		260	①行政主体	22	1300	0	260	0	0	1040
事務事業名 (2) 非木造個人住宅耐震診断事業		20年度評価		23	1300	0	260	0	0	1,040

意見番号 114	新城 地域審議会 委員意見 小笠原委員	行政として空石積みの上に建つ住宅、危険な塀、擁壁などについて調査、認識の必要がある。	担当課 回答	災害に強いまちづくりを進めるため、これまで木造個人住宅の耐震診断や補強工事への補助を行っているが、平成22年度からは新たに非木造住宅の耐震診断や補強工事に対し補助を検討している。 このように、災害に強いまちを目指し、着実に事業を進めているところであり、避難路沿いの塀などは今後の課題であると考えている。 なお、空石積の上に建つ住宅などに関しては、新・改築時に建物構造と併せ地盤についても建築士が確認することとされており、今後の建替時等に確認していただきたい。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有(無)					
				23年度以降	有(無)					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています		消防総務課	A2B	20						
重 3-3-1-3 消防体制を強化します		シート頁	市民協働指数	21	4265	0	0	0	1291	2974
3-3-1-3-3 消防本部・消防署の組織整備		271	①行政主体	22	3420	0	0	0	1035	2385
事務事業名 (3) 活動用資機材の整備事業		20年度評価	B	23	4700	0	0	0	1423	3,277

意見番号 115	市民委員会 委員意見 井上委員	消火栓等の点検ができていますか。 地元消防団の点検等。 ※(市民委員会での内容確認) ・消防団活動が団員の減少、常設化によって希薄になっていないか。 ・消火栓の点検をするにも、旧市方式で道具が無いと聞く(市民の使用を想定していないと聞く)が、初期消火体制は大丈夫か。	担当課 回答	鳳来、作手地区に配置されている消火栓器具庫については、各地区において保守管理を行っています。また、消火栓の管理につきましては、消火栓器具庫が整備されている地域は、道具(筒先・ホース・蓋及び消火栓開閉器)が配備されています。 消防団は、年度初めに、管轄地区区域の水利点検を実施しています。 鳳来地区・作手地区に整備されています消火栓につきましては、配管の径も細いものがほとんどで、消防署や消防団が消火活動用として使用するための水量が確保されておらず、自主防災組織や地域住民の方々が初期消火用又は延焼防止などに使用するために整備されています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-1 災害に強いまちづくりができています		消防総務課	A1B	20						
重 3-3-1-3 消防体制を強化します		シート頁	市民協働指数	21	1044	0	0	0	0	1044
3-3-1-3-4 消防本部・消防署の組織整備		272	③双方対等	22	504	0	0	0	0	504
事務事業名 (1) 消防団員の確保事業		20年度評価	A	23	504	0	0	0	0	504

意見番号 116	市民委員会 委員意見 井上委員	自主防災会の充実を図る。	担当課 回答	自主防災会の充実については、防災専門員研修等を通じ、防災リーダー等の育成、組織の強化を進めています。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

3 安全・安心の暮らし創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
3-3 安全に暮らせる山の湊を作る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3-3-2 地域ぐるみの安全対策が進んでいる		商工課	A2A	20						
3-3-2-3 消費者支援活動を進めます		シート頁	市民協働指数	21	555	0	555	0	0	0
3-3-2-3-1 消費者相談の実施		280	②行政主導	22	2950	0	2950	0	0	0
事務事業名 (1) 消費行政活性化事業		20年度評価		23	2016	0	2016	0	0	0

意見番号 117	新城 地域審議会 委員意見 鈴木委員	消費者行政事業の指標は、解決率ではすべての消費者トラブルを把握したことになっていない。事実、法律家としての小生の認識では、消費者の困り具合の度合いはもっと深刻であると思われる。特に高齢者、認知症予備軍を考えた場合、福祉行政とあわせた消費者行政の必要性はかなり高いと思う。専門法律相談は、もっと増やせられる。また任意後見、法定後見制度をさらに有効活用する必要性が全国的にも叫ばれている。	担当課 回答	「解決率では全ての消費者トラブルを把握したことにはならない」というご指摘についてはおっしゃるとおりですが、これに優る指標が見当たらないのが現実であります。今後、事業を進める中で、よりよい指標の検討・選定を進めていければと考えます。 また、後述の委員の認識についても、おっしゃるとおりだと考えます。ただ、本事業は消費者行政の活性化を図るという目的(制約)のある県基金を財源とし実施するものですので、残念ながら、消費に関する相談業務以外への支出ができませんので、ご了承願います。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4-1-1 環境への理解が浸透している		文化課	B	20						
4-1-1-2 地域の環境を調査し紹介します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
4-1-1-2-1 自然環境の調査・紹介		286	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (2) 新城版レッドデータブック作成事業		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 118	市民委員会 委員意見 森野委員	基礎調査がどの程度進んでいるか見えてこない。絶滅危惧種も市民には理解されていない。今、絶滅危惧種の保存に力を入れたい。そのためには、新城版レッドデータブックの作成は急務である。	担当課 回答	平成20年度から取組みはじめ、現地調査を開始したところです。調査の結果については、博物館発行の「館報」に掲載し、公表しているところです。現在までに「新城市自然環境基礎調査(1)」(館報第37号)、「新城市自然環境基礎調査(2)」(館報第38号)を発行しています。新城市における絶滅危惧種については過去の自然資料等のデータ不足から明確にすることは困難ですが、愛知県で発行したレッドデータブック2009を参考に、本市の自然環境の現状と照らし合わせて判断することになると思います。今後推進していく基礎調査をもとに保全の必要な種や地域等を明らかにしていく必要があると思います。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4-1-1 環境への理解が浸透している		文化課	B	20						
4-1-1-2 地域の環境を調査し紹介します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
4-1-1-2-1 自然環境の調査・紹介		287	③双方対等	22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 (3) 新城市史「自然編」発行业		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	0

意見番号 119	市民委員会 委員意見 森野委員	平成27年新城市史「自然編」の発行計画が示されている。どのような専門家やボランティアが、その発行に向けて、組織化されて進められているか公表していただきたい。その組織のリーダーシップと熱意によって、自然編の出来具合が左右される。よいものを作るためには、10年程度、その仕事に没頭し、夢中になって心根傾ける人材が必要である。大変な事業である。	担当課 回答	「自然編」発行に向けての編纂の組織作りは、今後検討していくこととなります。現在は、鳳来寺山自然科学博物館の学術委員(18名)を中心に地質、植物、動物、菌類の調査担当を決め、文献資料の収集と現地調査の区域の選定を行い、自然環境基礎調査を開始したところです。博物館学術委員に加え、市内外の専門家、ボランティアの調査協力の体制を整えつつあります。自然編の発行は市制10周年を目標に取組み、平成20年度から開始した新城市自然環境基礎調査の結果をもとに新生新城市の自然の実態をまとめたいと考えています。長期間の調査と、その編纂作業が必要となるため、調査執筆者および事務局スタッフの充実が望まれます。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4-1-1 環境への理解が浸透している		文化課	B	20						
4-1-1-2 地域の環境を調査し紹介します		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
4-1-1-2-1 自然環境の調査・紹介		286・287	③双方対等	22	0	0	0	0	0	
事務事業名 レッドデータブック、新城市史		20年度評価	B	23	0	0	0	0	0	

意見番号 120	市民委員会 委員意見 吉田委員	平成22年10月生物多様性会議(COP10)が名古屋で行われる。 この期を逃さず予算、人手をかけ協力を促進させ、重要性を市民に訴えかけて、努力を求めます。	担当課 回答	環境課との連携が必要な事業になると考えます。 鳳来寺山自然科学博物館では、平成21年度に来年のCOP10を見据え、生物多様性を学ぶ観察会、子ども講座、現地ツアー、特別展「ふるさとの棚田と湿原をまもる」「かわりゆくふるさとの自然」「きのご展」を開催しました。 22年には特別展「あいちの仏法僧」展、「あいち奥三河の自然の多様性」展(いずれも仮称)、生物多様性を学ぶ現地見学会、自然学習会等を企画しているところです。							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無						
				23年度以降	有・無						

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
4-1-2 良好な自然環境が保全されている		環境課	A2B	20	0	0	0	0	0	0
4-1-2-3 水辺環境を保全します		シート頁	市民協働指数	21	740	0	0	0	0	740
4-1-2-3-1 河川水質の管理		293	②行政主導	22	740	0	0	0	0	740
事務事業名 (1) 水質浄化・管理事業		20年度評価	A	23	740	0	0	0	0	740

意見番号 121	鳳来 地域審議会 委員意見 梶村委員	水質状態の検査と、水生生物調査のみでなく、河川形状の変化にも目を向けて項目に入れていただきたい。 宇連川の大野頭首堤、豊川の長楽頭首堤の築堤に伴い、下流域での川底は著しく経年変化し、砂地消滅により、浄化自助能力を失い、水生生物の生態系が変わってきている。豊川流域の漁業協同組合の協力を得て、聞き取り調査、定点変化の記録を残すことが必要	担当課 回答	平成21年度から、県と共催で、森から海までの流域全体を視野に入れ、水環境の現状とその変化を把握するため「流域モニタリング一斉調査」を開始しています。調査は、河川等の水質・水量・生態系・水辺の調査を5段階で評価するもので、6月に寒狭川下漁業協同組合と協力して、宇連川、豊川(寒狭川)の2箇所を実態調査を行っております。このデータは愛知県が集約しデータ化されますので、今後の変化等を見るための基礎調査になると考えています。 なお、河川形状の変化についてはそれぞれの河川管理者において対応していくものと考えます。、							
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無						
				23年度以降	有・無						

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	4-1-2 良好な自然環境が保全されている	土木課	A2B	20						
	4-1-2-3 水辺環境を保全します	シート頁	市民協働指数	21	80000	0	40000	0	0	40000
	4-1-2-3-3 多自然型川作りの推進	295	①行政主体	22	25000	0	25000	0	0	0
事務事業名 (1) 河川改修事業		20年度評価	B	23	50000	0	25000	0	0	25,000

意見番号 122	市民委員会 委員意見 吉田委員	協働指数①⇒③にすべきテーマと考える。 その中で事業規模(予算)を削減する策を検討して欲しい。	担当課 回答	河川改修を進めるにあたり、そこに生息する生物や植生に配慮した工法を取り入れるように努めており、現在は五反田川の改修において多自然型ブロックを護岸工事に使用しています。 ご質問の協働指数③＝双方対等で進めるような親水機能をもった護岸改修は今のところ計画は無く、河川の氾濫を防止し、住宅や農地を災害から守るための河川改修を進めているところです。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

4 環境首都創造		担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
4-1 環境首都「山の湊」を創る	年度			総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
	4-1-3 地球温暖化防止に向けた循環型ライフスタイルが浸透している	市民安全・環境課		20						
	重 4-1-3-1 環境型社会への取り組みを進めます	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	
		296～		22	0	0	0	0	0	
事務事業名		20年度評価		23	0	0	0	0	0	

意見番号 123	市民委員会 委員意見 吉田委員	(循環型社会への取り組み) 日本はCO2を25%削減を宣言した。この機を逃さず4大基本戦略に相応しい多くの市民を巻き込む計画を求める。 2020年からのバックカastingによる現在の立ち位置を明確にする活動であってほしい、促進策を練ってほしい。	担当課 回答	市の環境基本計画に基づいて、長期的な環境ビジョンから目標を組み立てて、その実効性をもった行動計画を樹立していくことが肝要であると考えております。着実な推進には、市民のみならず事業者を含めた協働の連携関係を構築しなければなりません、国の動向により、新たな目標が示されたことに鑑み、その方向性を精査し、本市の推進体制の構築を図りたい。						
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)				
				22年度	有・無					
				23年度以降	有・無					

				シートNO								
				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
				企画課		20	0	0	0	0	0	0
				シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
						22	0	0	0	0	0	0
事務事業名 人口減少化対策の一元化(対策室の設置)				20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 124	鳳来 地域審議会 委員意見 加藤委員	市や周辺市町村の人口減少が止まらないが、このことは就労可能人口の減少や人材不足等による企業立地としての要件を低下させている。更に保育園や小学校の統廃合は、居住の魅力を著しく減退させて将来性をなくしており、それらに対応する人口減少対策なくしては企業誘致も市街地活性化も達成は困難と思われます。 合併によるマイナス面(中心市街地から離れた地域が衰退する。)が進行しており、現状は既に人口減少化の悪循環に陥っていると思われるので、緊急の課題として人口減少化に対し総合的・一元的(各部にまたがる組織を設置)に取り組むべきと思います。	担当課 回答	企業誘致については、第二東名高速道路のインターチェンジ開設をインパクトとして、企業立地の計画を進めているところでありますが、同時に教育環境の整備、住環境の整備などを実施することで、定住人口を増やしていきたいと考えています。日本の国自体が人口減少しつつある現状で、人口増を図ることは大変厳しい状況ですが、10年の目標を定めた総合計画を市全体で推進することが、総合的な取り組みになるものと考えております。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

				シートNO								
				担当課	優先度	財源内訳 (千円)						
						年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
				企画課		20	0	0	0	0	0	0
				シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
						22	0	0	0	0	0	0
事務事業名				20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 125	鳳来 地域審議会 委員意見 菅沼委員	意見ではなく疑問ですが、ここにあげられている事業はすべて優先度がABCと判定されているだけで、Cのものも見直しされたりした後、必ず実行されるのか？ ムダなものはとりやめにするということは無いか？	担当課 回答	22年度の実施計画シートに搭載された事業は、施行ではありますが20年度事業を基に事務事業の評価を経て計画されたものです。この事務事業評価を経て見直された事業が掲載されており、不必要な事業については廃止しております。								
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)			見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
				22年度	有・無							
				23年度以降	有・無							

シートNO

	担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
			年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
	企画課		20	0	0	0	0	0	0
	シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
			22	0	0	0	0	0	0
事務事業名	20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見 番号 126	作手 地域審議会 委員意見 森田委員	<p>A判定事業は別枠外配布で、既に事業が確定しているようですが、A判定された事業こそ論議する必要があります。(経緯) 決定結果が不明確である 例) 159頁「五反田公園(道の駅)整備事業」</p>	<p>担当課 回答</p>	<p>22年度に取り組むべき事業の優先度は、一定の基準に基づいて判定したもので、ご指摘の通り結果が既に出しております。このA判定事業と義務的経費を除いた財源を、今後22年度予算として各部の裁量で措置することとなります。</p> <p>・A判定とすべき事業については、7月の市民委員会において各部課から提出のあった22年度予定事業(優先度)について議論がなされ、8月3日に同委員会からの答申がなされた。最終的なA判定事業の決定は、この答申を踏まえ、部長会議、経営会議で最終決定されたもので、行政内部での精査が行われている。今回の市民委員会及び地域審議会の答申や意見は、A判定事業の内容に及ぶことは差し支えありませんが、優先度判定(事業化)の方針については揺るがない。</p>					
				見直しの有無 (実施計画シートの修正)		見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)			
				22年度	有・無				
23年度以降	有・無								

		担当課	優先度	財 源 内 訳 (千円)						
				年度	総事業費	国費	県費	地方債	その他	一般財源
		財政課・企画課		20	0	0	0	0	0	0
		シート頁	市民協働指数	21	0	0	0	0	0	0
				22	0	0	0	0	0	0
事務事業名		20年度評価		23	0	0	0	0	0	0

意見 番号	127	作手 地域審議会 委員意見 森田委員	<p>合併前に見込んだ上記の金額と現実の金額はどのようになっていますか？その影響はどのようになっていますか？</p> <p>現在の市財政の健全性を示す指数等はどのようになっていますか？</p>	担 当 課 回 答	<p>◎合併特例債は主に合併した団体が一つにまとまるための事業にだけ充当できることになっており、本市においても一体化に貢献できるような事業に充当しています。</p> <p>消防防災センター整備事業(H17～H19) 総事業費1,446,385千円 起債額 1,156,400千円</p> <p>防災行政無線整備事業(H18～H21) 総事業費2,252,800千円 起債額 1,685,600千円</p> <p>まちづくり振興基金積立事業(H18) 総事業費1,000,000千円 起債額 950,000千円</p> <p>資源物ストックヤード整備(H18～H19) 総事業費 84,987千円 起債額 22,100千円</p> <p>不燃物破砕機購入(H20) 総事業費 45,150千円 起債額 42,800千円</p> <p>起債額合計 3,856,900千円</p> <p>地方交付税の合併算定替え(普通交付税)で見込んだ額と実際の決算額との差は、平成19年度を除き、見込額以上の額が交付されています。平成19年度は、約9百万円推計額を下回っていましたが、他の年度は上回っています。財政の健全性を示す指数の経過は、別紙のとおりであり、最新の指数である平成20年度決算から導きだされたものは、監査委員による決算審査意見書にありますように、「非常に厳しい指数であるが、合併後徐々に改善の兆しが見られる」と評価されています。</p>
見直しの有無 (実施計画シートの修正)					
見直しの内容 (シートのどこをどう修正するか)					
		22年度	有・無		
		23年度以降	有・無		